

# 令和元年度 事業実施報告書

---

【期間 : 平成31年4月1日～令和2年3月31日】

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会

## 【 目 次 】

経過報告	p.	2
------	----	---

### 各課の取り組み

#### I. 法人運営事業

##### ○総務課

1. 法人運営事業	p.	3
2. 放課後児童クラブ事業 (受託事業)	p.	15
3. 地域包括支援センター (受託事業)	p.	16

#### II. 地域福祉活動推進事業

##### ○地域支援課

1. 地域福祉活動推進事業	p.	18
2. 共同募金配分金事業	p.	34
3. 生活福祉資金貸付事業 (受託事業)	p.	41
4. 会員サービス事業 (法人運営事業に包含)	p.	43
5. 介護予防事業 (受託事業・家族介護教室)	p.	44
6. 日常生活自立支援事業 (受託事業)	p.	45
7. 生活困窮者自立支援事業 (受託事業)	p.	47

#### III. 在宅福祉サービス事業

##### ○居宅介護支援課

1. 居宅介護支援事業	p.	50
-------------	----	----

##### ○訪問サービス課

1. 訪問介護事業	p.	54
2. 障がい者ヘルパーセンター事業	p.	56
3. 訪問入浴介護事業	p.	58
4. 福祉用具貸与事業	p.	60
5. 訪問看護事業	p.	61

##### ○通所介護課

1. 通所介護事業	p.	64
2. 介護予防事業 (受託事業・菜の花館)	p.	66

##### ○障がい福祉課

1. 障がい者生活介護センター事業	p.	67
2. 日中一時支援事業	p.	69
3. 放課後等デイサービスセンター事業	p.	70
4. 就労支援事業	p.	72

## 経過報告

令和元年度の実績について報告致します。

まず大きな成果としては、志摩市が行った地域包括支援センターの運營業務に関する公募型プロポーザル方式に参加し、本会の提案が採択されました。このことにより2年半総額4,300万円の事業費を確保し、市とともに地域包括ケアシステムの構築にさらに注力する環境を整えることができました。また法人運営においては、人材確保の困難さが年々増していることから、定年後の働き方について新たな提案を行い、正職員の定年後の働き方に嘱託職員という新しい選択肢を加えました。併せて契約職員、パート職員の再雇用に関しても近い将来の定年延長も視野に入れた改革並びに最低賃金法の改正に伴う時給の引き上げを行ないました。さらに働き方改革関連では、不合理な格差の有無の点検・解消へ向け就業規程など関係する諸規定の整備を行っていますが、法人内には様々な意見があり、働き方改革は今後も引き続き継続してまいります。

地域支援課の事業では、地域生活拠点づくり事業を進める間崎地区において、地域住民や関係者との懇談を重ね、イオン阿児店の協力により、島民が店員となる「もやいいいきショップ」をオープンし、買い物支援の仕組みを立ち上げました。この事例に代表されるように各地区のコーディネーターが担当する地区での課題解決にむけて顔の見える関係づくりを深め、様々な取り組みを進めました。年度終盤に予定していた事業を新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて中止し若しくは延期しなければならず、地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進に少なからず影響があります。

企画事業部の各事業については、全体として当初計画の枠組みを何とか形作ることではできましたが、減収傾向に歯止めはかけられておらず、事業によってその業績に差があります。サンライフあごの改修を視野に事業を縮小している阿児通所介護事業所では、特に減収幅が大きくなっています。現時点で改修計画が白紙状態となっているため、新年度には通常通りの営業を行いさらには、機能訓練の機能を充実させ増収を図る予定です。事業整理の対象事業としている訪問看護事業では、新規の利用は見込めず、次年度には人材の有効活用の点からも事業整理が現実味を増すと考えています。障がい福祉課の事業では、就労事業の収入が伸びず、国体グッズの開発など地道な努力を重ねていますが、増税の影響で設備投資に経費がかさんだことに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響をうけ就労収入が落ち込み、このままではこれまでどおりの工賃支払いが困難となり、平均工賃が低下すると報酬も減額となりかねません。様々な課題が山積し厳しい状況がある中でも、令和元年度の事業は着実に成果を残すことができましたが、新型コロナウイルス感染症に対するリスク管理も含め、新年度は厳しい局面に対処すべく役職員一同が一つになって事業を進めてまいります。

中区分において掲げた「目標」に対して、下記の5段階の評価基準で事業評価を記載しました。

\*中区分の例：P3 総務課 (1) 法人運営

記号	評価基準
A	・計画を大きく上回った
B	・概ね計画どおり
C	・十分ではなく、努力を要する
D	・計画を大きく下回った
E	・未着手、準備中



## 各課の取り組み

### I. 法人運営事業

#### ○総務課（事業方針）

今年度総務課においては、単年度収支均衡に寄与し、効率的かつ効果的な組織運営ができる経営改善を重点として、次のとおり取り組みを行います。

#### 1. 法人運営事業・・・・・・支出予算 125,867千円

(1) 法人運営

(組織運営)

##### ■目標

- ①経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等に取り組み、法人運営の透明性の向上等に取り組み、法人運営の強化を図ります。
- ②本会事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を実施します。
- ③組織機構の再編や事業内容及び実施体制などを見直し、収支の均衡が図れるよう身の丈にあった経営改善に取り組みます。

##### ■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①定例理事会を開催します。（年3回） このほか必要に応じて柔軟に随時開催します。 ・参考～30年度理事会開催7回、評議員会4回	100%	①下表のとおり理事会を開催しました。（第1回、第6回、第8回が定例理事会。第2回、第3回、第4回、第5回、第7回は随時理事会。）		
		開催日	決議及び協議事項（○印は協議事項）	出席者
		[第1回] 5月30日	1. 平成30年度事業実施報告について 2. 平成30年度社会福祉事業会計決算について 3. 令和元年度資金収支補正予算について 4. 平成元年度第1回評議員会の招集について ⑤ 令和元年6月19日以降の役員体制について ⑥ 志摩市内地域包括支援センター運営業務の受託について	理事7名 監事2名
[第2回]	1. 会長の選定について	理事8名		

		6月20日	2. 副会長の選定について 3. 評議員候補者（補欠）について 4. 職員就業規程の一部変更について 5. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について	監事2名
		[第3回書面] 7月31日	1. 令和元年度第2回評議員会の招集について	理事9名 書面協議
		[第4回] 8月30日	1. 定款の一部変更について 2. 浜島・磯部地域包括支援センター運営規程の制定について 3. 令和元年度資金収支補正予算について 4. 選択定年制に関する規程の廃止について 5. 職員就業規程の一部変更について 6. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 7. 嘱託職員就業規程の制定について ⑧ 社会福祉大会における被表彰者及び被感謝者の審査選考について	理事9名 監事2名
		[第5回書面] 11月18日	1. 令和元年度第3回評議員会の招集について	理事9名 書面協議
		[第6回] 12月13日	1. 令和元年度資金収支第3次補正予算について	理事9名 監事2名
		[第7回書面] 2月21日	1. 令和元年度第4回評議員会の招集について 2. 評議員候補者（補欠）の推薦について	理事9名 書面協議
		[第8回] 3月27日	1. 令和元年度資金収支第4次補正予算について 2. 定款施行細則の一部変更について 3. 職員就業規程の一部変更について 4. 嘱託職員就業規程の一部変更について 5. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 6. 職員給与規程の一部変更について 7. 育児休業等に関する規程の一部変更について	理事9名 監事2名

②定例評議員会を開催します。（年3回）	100%		8. 介護休業等に関する規程の一部変更について 9. 職員旅費規程の一部変更について 10. 弔慰見舞規程の一部変更について 11. 職員退職手当規程の一部変更について 12. 安全衛生管理規程の一部変更について 13. 職員等人事評価実施規程の一部変更について 14. 職員の懲戒処分等の手続き及び公表に関する規程の一部変更について 15. ストレスチェック制度実施要綱の一部変更について 16. 「志摩市社会福祉協議会 放課後児童クラブ事業」運営規程の一部変更について 17. 契約事務取扱要綱の一部変更について 18. 共同募金配分委員会設置要綱の一部変更について 19. 令和2年度事業計画について 20. 令和2年度資金収支予算について	
		②下表のとおり評議員会を開催しました。（第1回、第3回、第4回が定例評議員会。第2回は随時評議員会。）		
		開催日	決議及び協議事項（○印は協議事項）	出席者
		[第1回] 6月19日	1. 平成30年度事業実施報告について 2. 平成30年度社会福祉事業会計決算について 3. 令和元年度資金収支補正予算について 4. 役員を選任について	評議員10名 会長1名 副会長2名 監事2名
[第2回] 8月30日	1. 定款の一部変更について 2. 令和元年度資金収支補正予算について	評議員13名 会長1名 副会長2名		
[第3回] 12月13日	1. 令和元年度資金収支第3次補正予算について	評議員10名 会長1名 副会長2名		

		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="750 124 999 181"></td> <td data-bbox="999 124 1957 181"></td> <td data-bbox="1957 124 2136 181">監事 2 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="750 181 999 379">[第 4 回] 3 月 27 日</td> <td data-bbox="999 181 1957 379">           1. 令和元年度資金収支第 4 次補正予算について            2. 令和 2 年度事業計画について            3. 令和 2 年度資金収支予算について            4. 理事（補欠）の選任について         </td> <td data-bbox="1957 181 2136 379">           評議員 10 名            会長 1 名            副会長 2 名         </td> </tr> </table>			監事 2 名	[第 4 回] 3 月 27 日	1. 令和元年度資金収支第 4 次補正予算について 2. 令和 2 年度事業計画について 3. 令和 2 年度資金収支予算について 4. 理事（補欠）の選任について	評議員 10 名 会長 1 名 副会長 2 名				
		監事 2 名										
[第 4 回] 3 月 27 日	1. 令和元年度資金収支第 4 次補正予算について 2. 令和 2 年度事業計画について 3. 令和 2 年度資金収支予算について 4. 理事（補欠）の選任について	評議員 10 名 会長 1 名 副会長 2 名										
③役員改選事務に取り組みます。	100%	③役員任期満了に伴い、下表のとおり役員改選事務に取り組みました。										
④内部監査を実施します。（随時）	0%	④本年度は、実施できませんでした。実施体制や効果について検討を継続します。										
⑤監事監査を実施します。（年2回）	100%	⑤下表のとおり監事監査を実施しました。										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="750 965 972 1010">開催日</th> <th data-bbox="972 965 1957 1010">内容</th> <th data-bbox="1957 965 2136 1010">出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="750 1010 972 1155">[第 1 回] 5 月 16 日</td> <td data-bbox="972 1010 1957 1155">           平成 30 年度決算監査（下記書類を中心に監査）            ①平成 30 年度事業実施報告書            ②平成 30 年度財産目録等決算計算関係書類         </td> <td data-bbox="1957 1010 2136 1155">監事 2 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="750 1155 972 1299">[第 2 回] 11 月 21 日</td> <td data-bbox="972 1155 1957 1299">           令和元年度上半期決算監査（下記書類を中心に監査）            ①令和元年度上半期事業実施報告書            ②令和元年度上半期決算報告書         </td> <td data-bbox="1957 1155 2136 1299">監事 2 名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	出席者	[第 1 回] 5 月 16 日	平成 30 年度決算監査（下記書類を中心に監査） ①平成 30 年度事業実施報告書 ②平成 30 年度財産目録等決算計算関係書類	監事 2 名	[第 2 回] 11 月 21 日	令和元年度上半期決算監査（下記書類を中心に監査） ①令和元年度上半期事業実施報告書 ②令和元年度上半期決算報告書	監事 2 名	
開催日	内容	出席者										
[第 1 回] 5 月 16 日	平成 30 年度決算監査（下記書類を中心に監査） ①平成 30 年度事業実施報告書 ②平成 30 年度財産目録等決算計算関係書類	監事 2 名										
[第 2 回] 11 月 21 日	令和元年度上半期決算監査（下記書類を中心に監査） ①令和元年度上半期事業実施報告書 ②令和元年度上半期決算報告書	監事 2 名										
⑥幹部会議を原則毎月1回開催し、運営状況及び方向性の確認と協議を行います。必要に応じて理事や評議員の参加する運営会議	100%	⑥原則、毎月第 2 金曜を開催日とし、合計 13 回の管理職会議を開催しました。主な協議内容は以下のとおりです。 定年後の再雇用に関する各種規程の整理（選択定年制に関する規程、嘱託職員就業規程、契約職員就業規程）、平成 30 年度決算概要、志摩市地域包括支援センター受託の可否、令和 2 年度職員採用計画、通信回線の切り替え、受動										

<p>とします。</p> <p>⑦理事会・評議員会の「福祉」「経営」の専門性の強化等を図るため、選任規程等の見直し案を作成し、理事会協議の上、必要に応じ見直しを図ります。</p> <p>⑧その他（計画外）</p>	<p>0%</p> <p>-</p>	<p>喫煙対策、令和元年度処遇改善手当、最低賃金の改正による時給単価の改正、特別処遇改善加算による職員への配分額、同一労働同一賃金への対応、令和元年度人事評価、令和2年度職員採用計画、令和2年度事業計画及び予算編成パートタイム・有期雇用労働法施行に伴う待遇差の対応策、令和2年度組織体制</p> <p>⑦本年度は着手できませんでした。次年度において協議を継続します。</p> <p>⑧選出母体の役員改選等による一部評議員の辞任に伴い、評議員の補欠を選任する評議員選任・解任委員会を開催しました。</p> <table border="1" data-bbox="763 587 2141 826"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[第1回] 6月27日</td> <td>1. 評議員（補欠）の選任について</td> <td>委員5名 会長1名</td> </tr> <tr> <td>[第2回] 2月28日</td> <td>1. 評議員（補欠）の選任について</td> <td>委員6名 会長1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧下表のとおり新たに選任された理事及び評議員を対象として研修会を開催しました。</p> <table border="1" data-bbox="763 874 2141 1010"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月8日</td> <td>・各課の業務説明 ・本会が運営する事業所の施設見学</td> <td>理事3名 評議員3名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	出席者	[第1回] 6月27日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員5名 会長1名	[第2回] 2月28日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員6名 会長1名	開催日	内容	出席者	8月8日	・各課の業務説明 ・本会が運営する事業所の施設見学	理事3名 評議員3名
開催日	内容	出席者															
[第1回] 6月27日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員5名 会長1名															
[第2回] 2月28日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員6名 会長1名															
開催日	内容	出席者															
8月8日	・各課の業務説明 ・本会が運営する事業所の施設見学	理事3名 評議員3名															

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1166 282 1217"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例理事会、評議員会は事業計画、予算、事業報告及び決算を中心として議案を提出し、全議案が承認されました。また、令和2年4月から施行されるパートタイム・有期雇用労働法が求める不合理な待遇差の解消に向け、職員就業規程等の関係規程の変更案を提出しご検討をいただいたところです。</li> <li>・本年度は任期満了に伴う役員改選の年度であり、理事会において役員体制を検討後、評議員会において新体制が承認されました。翌日開催しました臨時理事会において会長、副会長が選任され、新たな執行部の体制により法人運営がスタートしています。</li> <li>・この体制で臨んだ本年度の経営状況は、当期活動増減差額が前年対比-2,000万円余りという状況です。利用者の減少等による介護保険事業収益が落ち込み、また、最低賃金の引上げ等による人件費（非常勤職員給与）が増加していることが主な原因であると分析しています。</li> <li>・令和3年度の介護報酬の改定では、通所介護等の基本報酬が引き下げられることが予想されていることなどから、健全経営に向けた事業の精査や実施</li> </ul>
評価	B		



体制の見直しなど経営改善の取り組みが必要であると考えます。

(職員管理)

■目標

- ①次世代職員の育成と組織の活性化を目指し、人事制度の効果的な運用と評価につながる研修（計画）の調整・協議を行います。あわせて、相互理解が進む人事異動により、職員の士気高揚に努めます。
- ②各事業場において、正職員・契約職員・パート職員のバランスに注視し、余剰人員が生じないような体制整備を行います。
- ③職員の働き方を見直し、選ばれる職場づくりに努めることで、優秀な人材確保につなげます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①人事評価制度の安定的な運用を目指す評価者等の研修を実施し、人事評価の効果的な運用につなげます。	100%	①下表のとおり人事評価者研修を開催しました。		
		開催日	内容	出席者
		12月2日	研修内容：評価する者の心得、評価基準、面談の技法 など 講師：(株)話し方教育センター	正職員 26名
②新規採用職員、既存職員とも、三重県社協のキャリア対応生涯研修などを活用し、階層に応じた研修を順次、受講させていきます。	100%	②下表のとおり新規採用職員研修を開催しました。		
		・入会式及び施設見学		
		開催日	内容	出席者
		4月1日	入会式：辞令交付、管理職紹介 施設見学：本会が運営する主要な事業所の施設見学	正職員 5名 契約職員 2名
		・新規採用職員研修（主催：志摩市社会福祉協議会）		
		開催日	内容	出席者
4月2日	研修内容：社会福祉協議会とは…、総務課など各課の業務内容説明 講師：事務局長を含めた管理職	正職員 5名 契約職員 2名		
		②三重県社会福祉協議会が主催する研修会に参加しました。		
		・新任職員研修		
		開催日	内容	出席者

<p>③働き方改革関連法が順次施行されることに伴い、時間外労働の上限規制、有給休暇の確実な取得、正規雇用・非正規雇用の不合理な待遇差が禁止されます。検討の上、順次対応いたします。</p> <p>④職員就業規程の見直しと併せて長期的な職員採用計画について協議を開始します。</p>	<p>30%</p> <p>50%</p>	<p>5月9日</p> <p>研修内容：“社協を学ぶ”～社協の基本的知識と職位に期待すること～ 講師：高田短期大学 非常勤講師 蒔田 勝義 氏</p> <p>正職員 5名</p>			
		<p>・キャリアパス対応生涯研修</p>			
		<p>開催日等</p>	<p>区分</p>	<p>内容</p>	<p>出席者</p>
		<p>2日間</p>	<p>中堅職員</p>	<p>研修内容：中堅職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ</p>	<p>正職員 2名</p>
		<p>2日間</p>	<p>チームリーダー</p>	<p>研修内容：チームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ</p>	<p>正職員 10名</p>
		<p>2日間</p>	<p>初任者</p>	<p>研修内容：初任者としてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ</p>	<p>正職員 2名</p>
	<p>2日間</p>	<p>管理職員</p>	<p>研修内容：管理職としてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ</p>	<p>正職員 3名</p>	
	<p>③令和元年11月に本会の主な部署の職員6名と総務課職員2名により作業部会を立ち上げ、雇用形態（働き方）の確認を行うとともに年次有給休暇等の休暇を柱として不合理な待遇差の解消に向けた検討を行い、基本設計を整理いたしました。</p>				
	<p>④定年後の働き方について見直しを行うため、選択定年制の廃止や嘱託職員就業規程の新設など職員の労働条件に関する就業規程について整理を進めました。また、パートタイム・有期雇用労働法への対応については、作業部会において整理した基本設計をベースに職員就業規程等の関係規程を整理し、理事会及び評議員会に提案いたしました。長期的な職員採用計画については、協議に着手することができなかつたため令和2年度において検討を進めます。</p>				

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事評価制度は、試行期間を含めて本年度で4年目を迎えますが、運用面においては、業務目標のたて方や評価基準などの課題について整理する必要があります。令和2年度からは評価期間を変更する（1月～12月）こととしていることから、評価基準などの課題を整理し、令和2年1月に被評価者との面談を実施いたしました。</li> <li>人材確保については、定年退職の補充や正職員への転換制度により平成31年4月1日付けにて正職員5名を採用しました。採用職員に対しては、研修を受講させ、社会人としての心構えや本会業務について理解を深めました。また、本年度より三重県社会福祉協議会が主催する「キャリアパス対応生涯研修」に職員を参加させ、階層別での研修を受講することによりそれぞれの職階における役割を学びました。</li> <li>働き方の見直しについては、上半期に定年後の再雇用について検討を重ね、選択定年制の廃止や嘱託職員就業規程の新設など労働条件に関する就業規</li> </ul>
評価	C		

程を整理しました。下半期においては、パートタイム・有期雇用労働法が求める不合理な待遇差の解消に向け作業部会を編成し、休暇を柱として職員就業規程等の関係規程を変更しました。令和2年度は、給料、諸手当、賞与などについて整理を進めていく予定です。

(その他)

■目標

- ①大災害などの非常時において本会の担うべき業務と事業の再開・継続に向けた過程を明らかにするため、BCP（事業継続計画）の内容の再確認を行います。
- ②BCP（事業継続計画）と連動した福祉版DCP（地域継続計画）を作成するため、関連部署と連携しながら協議を開始します。
- ③地域福祉センターの老朽化が進んでおり修繕費等の管理費が増大していることから、その在り方について、市当局と価値観を共有したうえで、収支のバランスが整うよう協議できる体制を要望します。
- ④受託事業に関する迅速な対応を研究します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																				
①これまで作成したBCP（事業継続計画）の内容を再確認し、協議を行い、実情に応じ修正します。	20%	①下半期に管理職による作業部会を編成し、これまでに作成したBCP（事業継続計画）の内容を再確認するとともに、実情に応じた計画にすべく協議を進めました。																				
②関連部署と調整のうえ、事業者等と福祉版DCPの協議を行います。	0%	②BCP（事業継続計画）の検討作業が終了後していないことから、令和2年度に福祉版DCP（地域継続計画）の策定作業を進めます。																				
③市とサンライフあご大規模改修に向けた協議を行います。このことに伴い、2020年度は同所が使用できなくなるため、その期間中の事業運営を想定し、代替事務所や職員配置を関係事業所と調整し準備します。	0%	<p>③サンライフあごの大規模改修については、市の方針により実施時期が延期（未定）されたことから、市当局との交渉が止まっている状況です。大規模改修に伴う本会の要望等などについては市当局に伝えてあるため、協議は市当局からの依頼により再開します。</p> <p>志摩市地域福祉センターの管理運営（利用者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島</th> <th>大王</th> <th>阿児</th> <th>磯部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～9月</td> <td>5,823名</td> <td>5,212名</td> <td>3,204名</td> <td>8,507名</td> </tr> <tr> <td>10月～3月</td> <td>5,937名</td> <td>5,004名</td> <td>3,264名</td> <td>8,211名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,760名</td> <td>10,216名</td> <td>6,468名</td> <td>16,718名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※今年度から利用者の定義を変更しました。（利用者：通所介護、生活介護、障がい児童デイサービス、ボランティア）</p>		浜島	大王	阿児	磯部	4月～9月	5,823名	5,212名	3,204名	8,507名	10月～3月	5,937名	5,004名	3,264名	8,211名	合計	11,760名	10,216名	6,468名	16,718名
	浜島	大王	阿児	磯部																		
4月～9月	5,823名	5,212名	3,204名	8,507名																		
10月～3月	5,937名	5,004名	3,264名	8,211名																		
合計	11,760名	10,216名	6,468名	16,718名																		

<p>④他の地域福祉センターの大規模修繕の見積額については、平成 30 年度中に当局に報告しましたが、今後も調整を求め、費用負担の軽減に努めます。</p>	<p>50%</p>	<p>④浜島地域福祉センター及び阿児地域福祉センターの空調設備が故障したことにより市当局と協議し、本会負担（約 2,370 千円）にて取替え工事を行いました。</p>
---	------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 496 282 549"> <tr> <td>評価</td> <td>D</td> </tr> </table>	評価	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度に BCP(事業継続計画)の基礎を作成し、令和元年度においてブラッシュアップすることとしておりましたが、上半期においては着手することができず、下半期において管理職による作業部会を編成し、作成作業を進めましたが、終結に至っていない状況です。引き続き令和 2 年度において作成作業を進めていきます。</li> <li>地域福祉センターの修繕などの管理費については、その都度、市当局と協議し費用負担について判断しています。上半期においては、浜島、阿児の地域福祉センターにおいて空調設備が不調となり、本会負担にて対応している状況です。空調設備取替えによる費用負担は本会の経営にも影響していることから、今後も管理費の負担のあり方について引き続き市当局に要望していきます。</li> </ul>
評価	D		

(2) 会員サービス事業

■目標

①財政状況が厳しい中、会費、寄付金、共同募金配分金、介護保険収入など自主財源の確保に努めるとともに、経費の節約など支出の抑制に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>① 会費…特別会費については、加入状況に応じて再募集を実施し加入者の増加と増収を図ります。 (前年比+10件以上)</p>	<p>50%</p>	<p>①特別会費は7月に市内の企業を中心に協力をお願いすると共に11月にも追加募集を行いました。今年度は新たに17事業所を追加して協力をお願いしましたが、実績件数はわずかに増加(+5件)しているものの納入実績は、前年比37,000円の減少となりました。</p>
<p>②資料等へ会費の情報を掲載し、納入促進を図ります。 ※その他の自主財源は担当課で計画</p>	<p>100%</p>	<p>②③一般会費の趣意書について、従来の形式を改め、会費の使い道をわかりやすく示しました。前年比+22,304円と微増となりました。 ・会費・寄附金等の実績</p>

③会費納入の依頼の際に、会費の使い道を市民に分かりやすく説明します。

100%

本会の経営基盤の確立と事業の充実を図るため、自治会や関係団体の協力を得て会員加入に向けた取り組みを行いました。

・一般会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
納入件数	1,281件	1,432件	2,091件	3,189件	2,165件
納入金額	640,500円	695,897円	1,054,460円	1,538,391円	1,082,100円
納入件数合計	10,158件〔前年比+73件〕		納入金額合計	5,011,348円〔前年比+22,304円〕	

・賛助会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
納入件数	27件	20件	28件	47件	30件	5件
納入金額	81,000円	60,000円	84,000円	146,000円	92,000円	15,000円
納入件数合計	157件〔前年比+8件〕		納入金額合計	478,000円〔前年比+17,000円〕		

・特別会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町
納入件数	10件	21件	8件	111件
納入金額	75,000円	115,000円	100,000円	698,000円
	磯部町	市外	合計	
納入件数	31件	11件	193件〔前年比+5件〕	
納入金額	280,000円	75,000円	1,353,000円〔前年比-37,000円〕	

・会費の推移

[単位：円]

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般会費	5,041,193	5,334,178	5,115,105	4,989,044	5,011,348
賛助会費	52,220	594,000	514,000	461,000	478,000
特別会費	1,663,000	1,620,000	1,290,000	1,390,000	1,353,000
合計	7,226,193	7,548,178	6,919,105	6,840,044	6,842,348

・寄附金の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町
寄附件数	5件	4件	6件	21件

	寄附金額	197,395 円	86,000 円	230,288 円	983,160 円	
		磯部町	市外	合計		
	寄附件数	12 件	4 件	52 件〔前年比：-9 件〕		
	寄附金額	194,788 円	2,785,775 円	4,477,406 円〔前年比：+1,632,728 円〕		
	※物品のうち1万円以上の価値のあるものについては、金額に換算しています。					
	・寄附金額の推移 <span style="float:right">[単位：円]</span>					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	寄附金	12,558,838	2,840,084	2,358,809	2,844,678	4,477,406
④その他（計画外）	100%	<p>④広報活動の推進</p> <p>・広報誌やホームページを活用して本会の役割や活動などの情報提供・発信に努めました。</p> <p>〈1〉志摩市社会福祉協議会ホームページの運営〔<a href="https://www.shima-fukushikyo.or.jp">https:// www.shima-fukushikyo.or.jp</a>〕</p> <p>内容 / 事業紹介、各種情報提供、ブログ（支所活動・市民活動）、その他</p> <p>〈2〉広報誌「志摩市社協だより」の発行</p> <p>発行回数 / 計6回発行（奇数月の1日発行）</p> <p>A4版2色刷り（4ページ） / 約16,800部発行（1回あたり）</p>				
	100%	<p>④令和元年度志摩市社会福祉大会の開催</p> <p>多年にわたり地域福祉の向上に率先して、ご尽力、ご協力いただいた方々のご功績に心から敬意と感謝の意を表わすと共に、これを契機として本会と地域住民が互いに協力し模索し合いながら、更に地域福祉を充実させていこうとする気運を醸成することを目的として開催しました。</p> <p>開催日 / 令和元年10月14日（月） 場所 / 阿児アリーナ</p> <p>顕彰者数 / （表彰）4名・4団体、（感謝）1名・5団体</p> <p>延べ参加者数 / 210名</p> <p>活動発表 / 大王地区夢まちづくり委員会「大王地区夢まちづくり委員会の活動について」</p> <p>志摩市立浜島小学校「地域の行事への参加と地域の方とのふれあいを通して考える福祉活動」</p> <p>記念講演 / 『むすびあい 心がかよう 地域の輪』</p> <p>講師：交遊亭 楽笑 氏（大笑い福祉使 / 落語家）</p>				

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会費、賛助会費においてはわずかに増加しましたが、特別会費において減少しました。全体的には微増（+2,304円）という状況です。</li> <li>・会員募集については志摩市の人口の減少や企業の経営状況が関係しているとは思いますが、本会の活動がまだまだ住民のみなさまに浸透していないこともその原因ではないかと考えられます。社協だよりやホームページなどにより本会の活動を発信し続けていますが、住民のみなさまからのご相談に丁寧に対応していくことや、制度の隙間の課題を解決する仕組みを創造していくこと、また、住民座談会や福祉イベントなどを開催していくことなども本会の応援団（会員）を増やすことに繋がっていくものと考えています。今後も様々なチャンネルで本会の活動をお知らせし、会員の増強に努めていきたいと思ひます。</li> </ul>
評価	

### （3）志摩市連携事業

#### ■目標

①引き続き市（生活支援課及び介護・総合相談支援課）に職員を派遣し、市との福祉サービス事業の連携強化を図ります。

#### ■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①派遣職員の面談は年2回程度行い情報収集を図るとともに、メンタルヘルスにも留意します。	100%	①上半期は生活支援課に1名、介護・総合相談支援課に3名の職員を派遣し、下半期は地域包括支援センターの業務を受託したことにより介護・総合相談支援課への職員2名の派遣を終了し、生活支援課と介護・総合相談支援課にそれぞれ1名を派遣いたしました。派遣職員が総務課（かがやき）に来所した際には、積極的にコミュニケーションを図り、日頃の勤務状況やメンタル面に負担等がかかっているかなどを確認し、派遣職員のフォローを行いました。

#### ■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動の推進や個別援助を市と連携を図りながらすすめていくため職員を派遣しており、市からは一定の評価をいただいています。派遣職員の人件費等の費用は市負担であり、固定財源の確保とともに職員のスキルアップにも繋がっているものと評価しています。</li> <li>・10月1日以降は、市より浜島、磯部圏域の地域包括支援センター運営事業を受託することにより介護・総合相談支援課への職員2名の派遣を終了しました。下半期は、浜島地域福祉センター内にその拠点を置き、市民のみなさまから寄せられる様々な相談にお応えする体制整備をすすめました。</li> </ul>
評価	

### （4）障がい者雇用促進事業

#### ■目標

①現状の障がい者の法定雇用率2.2%については、クリアしていますが、さらに2.3%に引き上げられる予定です。法人の性格上、これを下回ることの無いよう、障がい者の雇用に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①適性な人員配置も考慮しながら、職員の適正に応じた職場配置や職場定着のための面談などを行います。	100%	①令和2年3月末日現在で身体障がい者5名、知的障がい者2名、精神障がい者1名、合計8名（常用雇用労働者：3名、短時間労働者[精神、重度]：2名、短時間労働者：3名×0.5=1.5名、カット：6.5名）の障がい者を雇用しています。法定雇用率に基づく本会の雇用者数は、4名であることから、法定雇用率を上回っている状況です。障がい者は、総務課と障がい福祉課に配属しており、日々のコミュニケーションにおいて心身の状況を把握することにより、職場定着を図りました。

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度は、障がい者の法定雇用率は法定要件を上回り、障がい者雇用調整金の支給を受けることができました。</li> <li>障がい者雇用を促進していくためには、本会業務の中から障がい者の能力を活かせる業務を洗い出すことや創造していくことが必要ではないかと考えます。在職している職員との良好なコミュニケーションを図り、職場定着に向けた取り組みを進めていくことと併せて、新たな障がい者雇用のステージを整えられるよう検討を重ねていきます。</li> </ul>
----------------	--

2. 放課後児童クラブ事業（受託事業）・・・・・・支出予算 19,788千円

(1) 放課後児童クラブ事業

■目標

①市より委託された事業であるので、市及び関連機関と協調し磯部及び浜島地域において、放課後児童の健全育成と保護者の就労支援に寄与すべく、事業を運営します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①年2回放課後児童クラブ運営委員会を開催し、保護者及び有識者代表の意見・助言	85%	①放課後児童クラブ運営委員会委員及び保護者の要望を受け、磯部放課後児童クラブでは令和2年度より施設1階の和室を川辺自治会より借り受けることによる使用スペースの拡張に関し、川辺自治会及びこども家庭課との間で合



<p>を事業運営に活かしていきます。</p> <p>②必要に応じて利用者ニーズをアンケート等でつかみ、施設の環境整備を行っていきます。</p>	75%	<p>意ができたことにより、令和2年度は待機児童の解消が可能となる予定です。</p> <p>②8月に実施したアンケート結果を踏まえ、浜島放課後児童クラブの指導方法を見直し、運動場および体育館で行う遊び(スポーツ)を1種目に限定し複数の指導員の目が届くように改変しました。さらに学校長とも相談の上、運動場の遊具も使用していくこととしました。磯部放課後児童クラブにおいては上記の通り新たな使用スペースを確保できる見込みなので、静かに過ごす児童のための部屋を設定していく予定です。</p> <p>・利用実績</p> <table border="1" data-bbox="757 422 1590 821"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島</th> <th>磯部</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>25名</td> <td>60名</td> <td>85名</td> </tr> <tr> <td>4月～3月</td> <td>2,906名</td> <td>9,566名</td> <td>12,472名</td> </tr> <tr> <td>[前年同月比]</td> <td>-358名</td> <td>+308名</td> <td>-50名</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>12名</td> <td>40名</td> <td>52名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td></td> <td></td> <td>3,088,465円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値</td> <td></td> <td></td> <td>-110,166円</td> </tr> <tr> <td>当期利益前年比</td> <td></td> <td></td> <td>96.56%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1日平均利用者数は、土曜日を除く。</p>		浜島	磯部	合計	定員	25名	60名	85名	4月～3月	2,906名	9,566名	12,472名	[前年同月比]	-358名	+308名	-50名	1日平均利用者数	12名	40名	52名	当期利益			3,088,465円	当期利益増減値			-110,166円	当期利益前年比			96.56%
	浜島	磯部	合計																															
定員	25名	60名	85名																															
4月～3月	2,906名	9,566名	12,472名																															
[前年同月比]	-358名	+308名	-50名																															
1日平均利用者数	12名	40名	52名																															
当期利益			3,088,465円																															
当期利益増減値			-110,166円																															
当期利益前年比			96.56%																															

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1023 282 1070"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・平成30年度と比較し、新型コロナウイルス感染症対策による学校の休校(令和2年3月)の影響はあったものの、磯部放課後児童クラブでは安定して需要があり利用者数は増加しているため、その役割が認知されているのではないかと考えます。その一方、夏休み前に浜島放課後児童クラブでは指導方法等を見直したことで利用者減はある程度抑えられましたが、前年度比減となったので何らかの方策を講じる必要があると考えます。</p>
評価	B		

3. 地域包括支援センター(受託事業)・・・支出予算 16,125千円

(1) 浜島・磯部地域包括支援センター事業

■目標

- ①保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がチームアプローチによる住民の健康保持及び生活の安定に向けた必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																									
①年度当初の計画は未設定（10月～受託）	—	<p>①総合相談支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に関する総合相談窓口として相談支援を行いました。</li> <li>・自宅への訪問や関係者からの情報提供を受け、適切な制度やサービスへつなげました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="752 347 2148 592"> <thead> <tr> <th></th> <th>生活 介護</th> <th>介護 保険</th> <th>介護 予防</th> <th>医療</th> <th>経済 問題</th> <th>施設 利用</th> <th>虐待</th> <th>福祉 サービス</th> <th>権利 擁護</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島町</td> <td>41件</td> <td>40件</td> <td>21件</td> <td>11件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>125件</td> </tr> <tr> <td>磯部町</td> <td>49件</td> <td>40件</td> <td>29件</td> <td>7件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>9件</td> <td>1件</td> <td>10件</td> <td>147件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>90件</td> <td>80件</td> <td>50件</td> <td>18件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>5件</td> <td>10件</td> <td>1件</td> <td>15件</td> <td>272件</td> </tr> </tbody> </table>											生活 介護	介護 保険	介護 予防	医療	経済 問題	施設 利用	虐待	福祉 サービス	権利 擁護	その他	合計	浜島町	41件	40件	21件	11件	2件	0件	4件	1件	0件	5件	125件	磯部町	49件	40件	29件	7件	0件	1件	1件	9件	1件	10件	147件	合計	90件	80件	50件	18件	2件	1件	5件	10件	1件	15件	272件
	生活 介護	介護 保険	介護 予防	医療	経済 問題	施設 利用	虐待	福祉 サービス	権利 擁護	その他	合計																																																
浜島町	41件	40件	21件	11件	2件	0件	4件	1件	0件	5件	125件																																																
磯部町	49件	40件	29件	7件	0件	1件	1件	9件	1件	10件	147件																																																
合計	90件	80件	50件	18件	2件	1件	5件	10件	1件	15件	272件																																																
②年度当初の計画は未設定（10月～受託）	—	<p>②権利擁護業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待通報、相談を受けた案件について、現地状況確認、相談支援を行いました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="752 691 1184 791"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虐待対応件数</td> <td>4件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援体制づくりのためにふくし座談会や認知症カフェへの参加、認知症サポーター養成出前講座の開催を行いました。</li> <li>・成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための相談支援を行いました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="752 935 1184 1035"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>											浜島町	磯部町	虐待対応件数	4件	1件		浜島町	磯部町	相談件数	0件	1件																																				
	浜島町	磯部町																																																									
虐待対応件数	4件	1件																																																									
	浜島町	磯部町																																																									
相談件数	0件	1件																																																									
③年度当初の計画は未設定（10月～受託）	—	<p>③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援事業所のケアマネジャーへの個別相談・アドバイスをしました。支援困難事例等への対応指導や同行訪問も行っています。</li> <li>・居宅介護支援事業所で開催される研修で地域包括支援センターの役割について説明を行いました。</li> </ul>																																																									
④年度当初の計画は未設定（10月～受託）	—	<p>④介護予防ケアマネジメント業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者及び事業対象者が要介護状態となることを予防し、または維持するために適切なケアマネジメントを行いました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="752 1374 1543 1426"> <thead> <tr> <th></th> <th>自機関</th> <th>委託</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											自機関	委託	合計																																												
	自機関	委託	合計																																																								

⑤年度当初の計画は未設定（10月～受託）	—	介護予防ケアマネジメント数	226件	169件	395件
		⑤介護予防支援 ・要支援者が必要な介護予防サービス等を適切に利用できるよう、介護予防計画の作成を行いました。			
			自機関	委託	合計
	介護予防サービス作成数	161件	240件	401件	

## ■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年10月に志摩市から地域包括支援センター運営業務を受託し、保健、医療、福祉の連携拠点として、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケアシステムの構築に向けた基盤整備を図るため、浜島地域福祉センター内にその機能を整え事業を展開してきました。</li> <li>相談件数は、開所した10月以降徐々に増加しており、浜島、磯部圏域における認知度が高まってきていると考えられます。今後も引き続き、地域包括支援センターの機能について啓発し、住民のみなさまに信頼され安心して相談できる拠点づくりを目指します。</li> <li>収支の状況については300万円余りの赤字決算となり、人員配置や経費削減など健全経営に向けた取り組みが必要であると考えます。</li> </ul>
評価	B		

## II. 地域福祉活動推進事業

### ○地域支援課（事業方針）

第3次地域福祉（活動）計画2年目の平成30年度は、地域支援コーディネーターが地域訪問を進める中で、地域の想いをカタチにしていくことの難しさと直面しながら改めてこれまで培われてきた地域の姿を知ることができました。

今年度、地域支援課においては、地域ニーズから社協ならではの地域とのコミュニケーションを図り、地域の在り方を住民のみなさまとともに互助の力を高めていく手法を検討していきます。

また、地域福祉（活動）計画推進に向け、本会の活動理念から本来の地域支援すべきことを地域支援課の専門性ととも精査し、事業の効率化を図ります。

#### 1. 地域福祉活動推進事業・・・支出予算 49,740千円

##### (1) 地域福祉活動計画推進

### ■目標

- ①相談支援調整会議と連携し、いつでも協働して包括的な支援サービスのための調整ができる関係を構築します。
- ②地域支援コーディネーターによる地域コーディネート推進を図ります。

③市の包括ケアシステムとの連携を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①地域支援コーディネーターと市の相談支援調整会議の定期的な連携会議により、包括的な支援に向けた話し合いを進めます。（月1回）	100%	①相談支援調整会議との連携会議		
		期日	内 容	出席者
		4月24日	1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有 3. 個別ケース（困難ケース）の情報共有	職員6名
		5月22日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 社会資源（宅配弁当業者）についての情報収集 3. 個別ケース（困難ケース）の情報共有、今後の支援方法について検討	職員4名
		6月26日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 社会資源（スーパー、弁当業者、移動手段等）についての情報収集・情報共有	職員7名
		7月24日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 個別ケース（困難ケース）の情報共有、今後の支援方法について検討	職員5名
		8月28日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 買い物支援状況について情報共有	職員5名
		9月25日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 個別ケースの経過報告	職員5名
		10月23日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 台風19号の対応等について意見交換	職員6名
		11月27日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 災害時の対応等について意見交換	職員4名
12月25日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 個別ケース（困難ケース）の情報共有	職員6名		

<p>②地域訪問を通して顔の見える関係づくりを更に深め、地域課題の把握、検討を通して地域づくりを進めます。 (月10地区以上の地域訪問)</p> <p>③ふくし座談会で出された方策の実現に向けて、継続的に協議する場を作っていきます。 (2地区以上)</p> <p>④社協の実態把握活動を進め、支援の必要性を見出していきます。(月5回以上)</p>	100%	1月22日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 個別ケース（困難ケース）の情報共有、今後の支援方法について検討				職員 5名
		2月26日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 個別ケース（困難ケース）の情報共有、今後の支援方法について検討				職員 7名
		3月25日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 2. 個別ケース（困難ケース）の情報共有 3. 新型コロナウイルス感染症に関する対応について情報共有				職員 4名
	40%	※市健康福祉部各課担当者と地域支援コーディネーター等で構成					
		②顔の見える関係づくり ・地域への訪問活動 自治会、民生委員、サロンなど地域活動の機会や必要に応じて意図的に訪問活動を実施しました。					
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
		4月～3月	207回	355回	304回	232回	206回
		③ふくし座談会					
	60%		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
		4月～3月	0回	1回	3回	2回	6回
*志摩町間崎地区においては、もやい買い物支援の展開について住民座談会を実施しました。(1回)							
④実態把握活動（地域アセスメント、個別ケース対応）							
	地域	7件	15件	7件	54件	4件	
	個別	11件	10件	21件	15件	10件	

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・地域支援コーディネーターと相談支援調整会議の定期的な連携会議は、計画どおり月1回実施し、各種研修や事業、地域のインフォーマルサービス等の情報共有から相談支援の幅が広がりました。また、台風や大雨災害、新型コロナウイルス感染症などの状況についても市関係部署との情報共有による連携をとることができました。引き続き、包括的な支援検討の場となるようにしていきたいと考えています。</p>
評価	B		

・地域支援コーディネートについては、地域への訪問活動や実態把握を重ね、地域課題の把握や検討を通して地域づくりを進めていきます。また、次年度は、第4次地域福祉（活動）計画の見直し時期となるため、地域福祉の現状と課題を把握する機会を作り、市民の意見が計画策定に反映できるようにしていきます。

(2) 生活支援体制整備事業

■目標

- ①地域アセスメントや地域組織化などの手法やコミュニティソーシャルワークによる地域ネットワークのしくみづくりを進めるための技術や知識を習得し質の高い地域支援を行います。
- ②自治会、民生委員等関係団体、学校、放課後児童、子育て支援機関、地域活動（サロン、子育て支援、障がい者活動など）、行政機関（福祉行政関係機関）、その他あらゆる地域活動の機会をとらえて、顔の見える関係づくりをさらに進めます。
- ③協議体の立ち上げ支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①地域アセスメントやコーディネート機能を担うことができるように、技術や知識の習得に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーター研修への参加（年1回×2名の参加）</li> <li>・三重県社協主催の研修会への参加（年2回）</li> </ul>	<p>80%</p>	<p>① 各種研修会の機会へ積極的に参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーター養成研修会への参加 日時：令和元年7月24日（水）13:00～16:00 会場：三重県教育文化会館 参加：地域支援コーディネーター2名 内容：「改正介護保険を活かす、これからの地域づくりのポイント『新しい地域支援事業』の生活支援コーディネーターと協議体について」</li> <li>・市役所主催総合相談研修への参加 日時：5/28、6/11、6/19、6/25、7/9、7/23、8/6、8/20 19:00～20:00 会場：志摩市役所 参加：地域支援コーディネーター 内容：福祉関連の制度説明等</li> </ul>

<p>②支え合い体制づくりの充実に向けて、支え合い研修会を開催します。（年1回）</p>	<p>100%</p>	<p>・市役所職員対象研修への参加          日時：11月15日（金）18:30～20:00          会場：磯部健康福祉センターかがやき          参加：地域支援コーディネーター（5名）          内容：目的志向型のまちづくり ～ケースメソッド的検討の勧め～</p> <p>・三重県社会福祉士会伊賀支部研修会への参加          日時：6月23日（日）14:00～16:00          会場：上野ふれあいプラザ          参加：地域支援コーディネーター（5名）          内容：地域支援力を育むワークショップ</p> <p>②支えあい研修会を実施しました。          （第1回講座）</p> <table border="1" data-bbox="824 710 2130 911"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> <th>内容（共通）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月6日（金）13:30～15:00</td> <td>磯部健康福祉センターかがやき</td> <td>26名</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>12月9日（月）13:30～15:00</td> <td>志摩市商工会館</td> <td>28名</td> <td>ワークショップ</td> </tr> <tr> <td>12月10日（火）10:00～15:00</td> <td>大王公民館</td> <td>16名</td> <td>「支え合い体験ゲーム」</td> </tr> </tbody> </table> <p>（第2回講座）          日：12月18日（水）～1月20日（月）の期間、12回実施          参加：58名          内容：市内サロン等の集いの場、買い物支援活動の見学</p> <p>（第3回講座）          日時：1月26日（日）13:30～15:30          会場：磯部健康福祉センターかがやき          参加：42名          内容：講義とワークショップ「自分たちにできることを考える」</p>	日時	会場	参加者数	内容（共通）	12月6日（金）13:30～15:00	磯部健康福祉センターかがやき	26名	講義	12月9日（月）13:30～15:00	志摩市商工会館	28名	ワークショップ	12月10日（火）10:00～15:00	大王公民館	16名	「支え合い体験ゲーム」
日時	会場	参加者数	内容（共通）															
12月6日（金）13:30～15:00	磯部健康福祉センターかがやき	26名	講義															
12月9日（月）13:30～15:00	志摩市商工会館	28名	ワークショップ															
12月10日（火）10:00～15:00	大王公民館	16名	「支え合い体験ゲーム」															
<p>③地域づくりの関係者（自治会や活動者等）で協議体の構成をするための基盤づ</p>	<p>80%</p>	<p>③自治会や活動者と共に、地域協力の中の活動について協議し具体的な取り組みを行いました。          間崎地区 拠点づくり事業の中の買い物支援について自治会、民生委員、地域協力員、イオン阿児店との協議を</p>																

<p>くりを進め、地域に合った地域力向上に向けた協議をする場づくりを進めます。 (2 地区以上)</p>		<p>進めました。※(3)の地域生活拠点づくり事業を参照 船越地区 自治会とイオン阿児店と買い物支援について協議しました。</p>
--	--	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 448 282 499"> <tr> <td data-bbox="91 448 203 499">評価</td> <td data-bbox="203 448 282 499">B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市や民生委員、地域団体、ボランティア団体等の関係機関との顔の見える関係づくりは、地域訪問をはじめあらゆる機会を捉え進めてきました。関係づくりを通じて相談を受けた個別ケースについて、市役所等と連携して課題解決に向けた支援を行う機会が増えています。</li> <li>・協議体を構成するための基盤づくりについては、ふくし座談会を通じて、地域にあった地域力向上に向けた協議を行う場づくりを進めていきたいと考えています。地域支援コーディネーターとして、技術や知識の習得に努めつつ、質の高い地域支援を行うことができるように、研修会への参加と定例会議を通じた学びの場を意識して計画作成を考えています。</li> </ul>
評価	B		

(3) 地域生活拠点づくり事業 (市受託事業)

■目標

①間崎地区「生活支援拠点もやい」

拠点の運営・活用や地区の課題解決に向け、市や支援者、企業、「つばさ(和具地区拠点)」と連携して支援します。また、地域も地域住民もやりがいと役割が持てるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①間崎地区「もやい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が駐在します。(週1日)</li> <li>・自治会などの地縁団体等と協議して新たな地域協力員を発掘していきます。</li> <li>・地域の買い物課題について協力員や企業と連携して支援します。</li> <li>・拠点つばさにかかわる協力員と合同会議</li> </ul>	<p>100%</p>	<p>①間崎地区「もやい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体によるもやいの運営を進めています。</li> <li>・買い物支援(ショップ運営)を住民が主体となり、もやい協力者との協議やショップ作業の研鑽を重ねています。</li> <li>・当初は職員の駐在を予定しましたが、買い物支援(ショップ運営)について住民主体の取り組みが進み、現在では週1回職員を派遣しています。</li> <li>・地域協力員は6名(3月から5名)となり、運営協議会(協議体)のメンバーとして、また、買い物支援スタッフとしてやりがいを見い出した中で活躍しています。</li> </ul>



を実施します。(月1回)

- ・もやいの生活支援メニューのひとつとして、8月1日より地域協力員とイオン阿児店の地域貢献による協働で買い物支援事業(もやいいいきいきショップ)を展開しました。イオン阿児店からの商品運搬、搬入と販売、在庫管理を住民ボランティアが協働体制で実施しています。

\*陳列販売：月・水・金 9:00~11:30 (約250品目)

\*受注販売：注文受付…月・金 9:00~11:30、販売…金 10:00頃~11:30

#### 買い物支援事業の新展開まで

- ・買い物支援事業の展開に向けて、協力員会議ではもやいの運営方法を協議しました。また、ふくし座談会ではイオン阿児店の支援を受けるにあたり、住民側の役割や住民座談会の開催に向けた協議をしました。
- ・住民座談会を開催し、もやいいいきいきショップの説明やイオン阿児店の支援を受け入れるにあたり、住民協力の必要性を説明しました。
- ・もやいの運営発展と持続させるため、生活支援拠点もやい運営協議会の設立を提案し、設置に至りました。

#### 地区内外の資源等や拠点間の連携

- ・和具地区(地域交流拠点つばさ)と月1回程度の合同会議を継続しており、情報共有やつばさ協力員からの支援や交流機会をスムーズに行っています。
- ・和具地区(地域交流拠点つばさ)は、昨年度で受託終了したものの、引き続きつばさ地域協力員によるもやいいいきいきショップのレジスター調整や間崎サロンの運営協力などの支援が得られています。
- ・地域協力員と連携して、間崎いきいきサロンを月1回程度開催しています。企業の協力も得ており、JA伊勢や薬局より講師派遣もありました。
- ・志摩市と三重大学深井研究室と進捗状況を共有しながら、もやいの展開について適宜協議を実施しています。

#### 和具地区 地域交流拠点つばさ

- ・昨年度に「前島庵」を閉鎖し、9/25から和具地区の拠点を「つばさ」1か所に移行して運営をしています。
- ・今年度から志摩市受託事業ではなくなり、午前中は本会志摩町拠点(事務所)として、午後や休日は地域協力員の自由な発想で相談・打合せ・サロンなどで使用しています。
- ・地域協力員4名が「つばさ」を活用して、サロンや朝市等の交流の場を地域住民とともに運営しています。
- ・拠点運営会議開催：月1回開催。つばさの運営のふりかえりと新しい企画について話し合っています。また、もやいと合同で協議機会を持っています。

<p>②新たな拠点の選定など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくし座談会などで拠点ニーズを把握していきます。</li> <li>・次年度の候補地を選定します。</li> </ul>	<p>100%</p>	<p>②浜島町浜島地区、志摩町布施田地区、阿児町鶴方地区における拠点ニーズの視点で、各地域支援コーディネーターが地域の実情把握を進め、拠点づくりのあり方を模索しました。</p> <p>浜島町まちづくり委員会の福祉部会へ相談し、志摩市内では間崎地区に続いて高齢化が著しく、商店がなく買い物課題がある浜島町南張地区を選定しました。南張自治会の協力の下、ニーズ調査を地元有志と取り組み、南張地区における拠点のあり方を検証します。</p>
---	-------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 544 282 596"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>①間崎地区「もやい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物支援事業の新展開により本会パート職員を地域協力員のサポートや作業指導のため派遣しています（週1日）。</li> <li>・他生活支援メニューは、間崎サロンで実施しております。</li> <li>・もやい運営、地域協力員、地域住民とカテゴリ別で協議や説明機会を作ることができました。</li> <li>・まずは買い物支援事業の安定を目指しながら、さらに地区内外の協力者を発掘していきます。</li> <li>・持続可能な拠点及び買い物支援事業を目指して、島内外の人材を含む地域資源や財源確保について住民や行政と取り組んでいきます。</li> </ul> <p>②新たな拠点の選定など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜島町南張地区を選定しました。令和2年度より取り組んでいきます。</li> </ul>
評価	B		

(4) 災害ボランティアセンターの運営準備

■目標

①有事に備え、災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう準備していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①災害ボランティアセンターの運営マニュアルを更新します。（11月まで）</p>	<p>80%</p>	<p>①作成中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人みえ防災市民会議から助言を得ながら、運営マニュアルの更新策定を進めてきました。</li> <li>・11月中に更新した災害ボランティアセンターマニュアルの提示を目標としてきましたが、内容の調整のため、80%の完成度で完成には至っていません。また、昨今の災害状況や規模を勘案し、定期に必要な修正を行います。</li> </ul>

<p>②災害ボランティアセンターの運営協力者の養成に向け、災害ボランティアコーディネーター養成研修会を開催します。 (年1回)</p>	<p>30%</p>	<p>② 延期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年2月～3月に全4回講座の開催を予定し、令和2年度には講座修了者を組織化またはネットワーク化を見据えて計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から第1回のみ開催となりました(未実施の3回の講座は令和2年度へ延期)。講座の企画については、特定非営利活動法人みえ防災市民会議及び、特定非営利活動法人DRT-JAPAN 三重、畔名自治会、みえ防災コーディネーター志摩の会の協力を得ています。</li> </ul>
---	------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 523 282 571"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアル完成まであと一歩でしたが、大王町畔名地区の被災地支援の経験から、小規模災害及び大規模災害に適したマニュアルの必要性に気づくことができました。更新策定中のマニュアルを令和2年度上半期までに完成させ、災害規模に適したマニュアル策定の検討を始めます。また、災害ボランティアセンターが必要となった際に、運営がスムーズにできるよう災害ボランティアセンター設置運営の訓練を実施し、地域や関係団体の助言を得ながら、適宜マニュアルの見直しを行います。</li> <li>講座の修了に至りませんでした。養成講座開催に向けて関係団体との協力関係を構築しました。令和2年度では、講座を再開し、講座修了者の組織化またはネットワーク化を進めます。</li> </ul>
評価	C		

(5) 災害時要援護者支援

■目標

- ①災害時に支援が必要な高齢者、障がい者などを地域が把握し、助け合いにつながるよう志摩市、自治会、民生委員などと連携して災害時要援護者台帳を整備します。また、有事の際に備え、自主避難や避難所連携などについて検討していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①地区(自治会、民生委員等)の災害時要援護者支援台帳(支えあいカード)の取り組み状況や活用事例を把握します。</p>	<p>100%</p>	<p>① 要援護者台帳システムの運用について、市地域福祉課担当者と確認をしました。地域支援コーディネーターが災害時要援護者台帳の取り組み状況や活用事例の把握を行いました。また、取り組んでいる地区には市役所へ支えあいカードの情報提供を進めるとともに、発展的に取り組んでいる地区を確認しています。</p>
<p>②地域主体の自主避難支援の仕組みを市・社協・地域と検討します。(モデル1地区)</p>	<p>0%</p>	<p>②市からの指導があった、実際の台風時に避難をした事例(志摩町片田・大王町船越)を教訓に、自主避難支援の取り組みをテーマとしてふくし座談会の開催を片田地区にて計画しましたが、地区と十分な検討時間が持てず、ふく</p>

<p>③避難行動要支援者訓練（志摩市総合防災訓練時）へ参加します。⇒自治会や民生委員、市、社協で避難支援が必要な要支援者を把握確認し、避難ルートや避難に必要な支援について検討します。（年1回）</p>	<p>100%</p>	<p>し座談会の開催には至りませんでした。 ③昨年度悪天候で十分な実施ができなかった磯部町下之郷地区を対象に、11月4日に地元自治会や地域住民の積極的な参加のもと、避難行動要支援者避難訓練（志摩市防災訓練）を市・社協と連携した方法で実施しました。</p>
--	-------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 592 282 644"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	C	<p>・災害時要援護者台帳の取り組みについては、地域支援コーディネーターが日頃の地域との接点から把握しています。また、避難行動要支援者訓練（11/4志摩市総合防災訓練時）を実施しました。なお、行政・社協と連携した住民主体の避難支援の仕組みづくりについては未着手となりましたが、自治会や民生・児童委員等との醸成された関係のもと、次年度に協議機会を再度提案していきます。</p>
評価	C		

（6）救急医療情報キット配付事業（受託事業）

■目標

- ①急な傷病など万が一に備えるため、救急医療キットを必要とする独居高齢者や高齢者世帯等に対し、救急時に必要な情報シートを入れたケースを世帯へ配付します。
- ②救急医療情報キットの配付をきっかけに、地域のつながりを確認する機会とし、支え合いや見守りにつながるように地域へ働きかけます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①救急医療情報キットの配付方法や活用について自治会や民生委員と協議して実施します。 配付時期：令和元年10月から 対象年齢：70歳以上独居高齢者、高齢者世帯等 配付数：令和元年度新規対象者約500世帯</p>	<p>100%</p>	<p>①救急医療情報キットの配付について今年度対象年齢を迎える方々（新規）を対象に情報キットを配付しました。 11月から準備の整った地区より配付が始まり、全地区において配付を完了しました。 ・地区の状況に応じて、対象者を確認の上、配付の方法について相談・協議により配付の時期と方法について検討しました。 ・昨年度配付したキット情報について、最新の情報として有事の際に役立つように、配付された対象者向けに社協だよりやチラシにより情報更新の啓発を行いました。</p>

<p>配付方法：自治会・民生委員等と協議し、地域で取り組みやすい方法を検討の上、配付方法を定めます。</p> <p>情報更新：年1回定期的に本人の医療情報等の更新を促します。</p>		
---	--	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <p>評価 B</p>	<p>・キットを配付することにより、的確かつ迅速な救急対応や近隣の見守り意識の向上を目指し、自治会や民生・児童委員、地域団体との連携・協力体制を構築するため協議を進めました。次年度も引き続き協議を重ねながら連携・協力体制を図り、市民がより暮らしやすいまちづくりを目指します。</p>
---------------------------	---

(7) 成年後見制度の利用支援

■目標

①認知症、知的・精神障がいなどの障がいにより、判断能力に不安のある人の自己選択や自己決定を支援するため、成年後見制度の利用を支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
①支援に要する財源や担当人員に見合った法人後見支援を継続し実施していきます。	100%	<p>①利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>後見</th> <th>保佐</th> <th>補助</th> <th>任意後見</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初受任者数</td> <td>9名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>年度内新規受任者数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>年度内後見終了者数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>年度末利用者数合計</td> <td>9名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table>		後見	保佐	補助	任意後見	合計	年度当初受任者数	9名	2名	0名	0名	11名	年度内新規受任者数	0名	0名	0名	0名	0名	年度内後見終了者数	0名	0名	0名	0名	0名	年度末利用者数合計	9名	2名	0名	0名	11名
	後見	保佐	補助	任意後見	合計																											
年度当初受任者数	9名	2名	0名	0名	11名																											
年度内新規受任者数	0名	0名	0名	0名	0名																											
年度内後見終了者数	0名	0名	0名	0名	0名																											
年度末利用者数合計	9名	2名	0名	0名	11名																											
②制度の利用希望者に対する申立等の相談支援を行います。	50%	②随時対応し、関係機関や団体等へ適切に繋げることができるよう支援体制をとっています。																														
③成年後見推進会議へ参加します。 (県社協年1回)	0%	③成年後見推進会議：三重県社協主催の推進会議は、未開催のため、参加はありませんでした。																														

<p>④成年後見連絡会議へ参加します。 (県社協年1回)</p> <p>⑤成年後見制度利用促進基本計画に関する 情報収集と研究を行います。</p>	<p>0%</p> <p>0%</p>	<p>④成年後見関連業務担当職員研修会：三重県社協主催の推進会議は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。</p> <p>⑤成年後見制度利用促進に関する意見交換会（津家庭裁判所主催）</p> <p>日時：令和2年1月29日（水）13:30～16:00 会場：津家庭裁判所伊勢支部 参加：2名</p> <p>◎その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見担当者会議(令和元年5月～月1回開始)開催 日時：基本第4火曜日 16:00～17:00</li> <li>・成年後見基礎研修会に参加（県社協主催）※2会場に各2名が参加 日時：令和元年7月12日（金）10:00～16:00 会場：伊勢市生涯学習センター いせトピア 内容：制度説明等講義、演習</li> </ul> <p>日時：令和元年7月19日（金）10:00～12:00 会場：三重県社会福祉会館 内容：制度説明等講義</p>
---	---------------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1125 282 1173"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、11件の被後見人等への支援については、代理や保佐、補助による定期的な身上監護と財産管理による支援を実施しています。</li> <li>・被後見人の高齢化により、今期、2件の緊急入院がありました（その後退院し、施設生活再開）。遠方に親族がいるため、死亡後の事務対応について話し合う機会があり、1件については後見人が対応することで合意しております。</li> <li>・成年後見支援は、核家族化が顕著な状況で、今後、高齢者や障がい者に必要な支援となる可能性が増えることが予測できることから、市の利用促進への取組みアプローチと、支援サポート体制づくりについて検討を進めます。</li> </ul>
評価	B		

(8) 福祉人材の育成支援

■目標

①次世代を担う介護・福祉の人材を育成するため、高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①社会福祉士相談援助実習の受け入れを行います。(2名まで)	50%	①介護人材の育成支援		
			人数	備考
		社会福祉士相談援助実習	0名	社会福祉士受験資格取得に係る実習(180時間以上)
		介護等体験実習	7名	小中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間) 阿児通所:8月1名、9月2名 磯部通所:8月1名、9月2名、2月1名
		その他	7名	ワンステップ研修(市役所) はばたき:10月7名(2日間)
		合計	14名	

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉士相談援助実習についての受け入れはありませんでした。</li> <li>介護等体験実習については、通所介護課において7名を受け入れました。その他として、障がい福祉課では、市役所からのワンステップ研修として7名を受け入れました。</li> </ul>
評価	B		

(9) 広報、啓発

■目標

①地域住民の福祉への興味・関心を高め、福祉活動に協力しやすくなるよう広報・啓発していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①社協だよりを活用して情報を伝達しま	100%	①奇数月に社協だよりにて情報発信を行っています。

<p>す。(年6回)</p> <p>②ホームページやブログ、SNSを活用して情報を発信します。(月1回以上)</p> <p>③地域活動・ボランティア活動の見える情報手段として、蓄積された情報や地域情報を元に、社会資源マップづくりを行います。(継続)</p>	<p>100%</p> <p>80%</p>	<p>②SNSを活用して、月1回以上の情報発信を行っています。定期的な情報発信の効果もあり、志摩市社協のページへ862名の方から「いいね!」の評価が寄せられており、徐々に関心が高まっています。</p> <p>また、総務課と連携し、ホームページによる情報発信に心掛けています。</p> <p>③現在、社会資源情報として、全5町のサロンマップが完成しました。また、本会のホームページへ掲載し、本会の各拠点では希望者へ配布をしています。なお、生活支援体制整備事業の成果、地域への情報発信の一つとして、志摩市役所ホームページへ掲載されました。</p>
--	------------------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 687 282 740"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・定期的にブログやフェイスブックの更新は行っているものの、内容が偏っているため、社協全体で情報発信の方法や内容を考え、地域住民が福祉や介護に興味・感心を持っていただけるための工夫が必要です。また、地域にある社会資源を多角的にさらに目に見えるカタチで発信する方法として、サロンパンフレットを作成中です。現在は各サロンへ取材を実施し、PDF版を作成中です。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3月に取材を予定していたサロンが軒並み中止となっているため、全サロンの取材が終了次第PDF版をホームページへ掲載し、冊子は各関連機関へ配付する予定です。</p>
評価	B		

(10) 専門相談会

■目標

①住民が抱える様々な悩みや困りごとの中で、法的な問題に対し、解決に向けた必要な情報提供や助言を与える機会を提供します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																		
<p>①土地、相続、金銭貸借など民法上の相談窓口として、専門相談会を開催します。</p> <p>※弁護士相談(年10回)、法テラス三重の巡回相談(年6回)、司法書士相談(年10回)</p>	<p>100%</p>	<p>①専門相談会</p> <table border="1" data-bbox="757 1230 1637 1430"> <thead> <tr> <th>相談区分</th> <th>法律相談 (弁護士)</th> <th>登記・訴訟相談</th> <th colspan="2">巡回相談 (法テラス三重)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td colspan="2">6回</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>40件</td> <td>39件</td> <td colspan="2">21件</td> </tr> </tbody> </table>				相談区分	法律相談 (弁護士)	登記・訴訟相談	巡回相談 (法テラス三重)		開催回数	10回	10回	6回		相談件数	40件	39件	21件	
相談区分	法律相談 (弁護士)	登記・訴訟相談	巡回相談 (法テラス三重)																	
開催回数	10回	10回	6回																	
相談件数	40件	39件	21件																	



■評価

目標の達成度	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律相談は、受付開始後早々に予約が埋まり、キャンセル待ちで対応することも多い状況です。</li> <li>・登記・訴訟相談に関しては予約が少ない月もありましたが、概ね計画どおり実施することができました。</li> <li>・法律相談の予約が多い状況ですが、内容によっては登記・訴訟相談での対応可能なケースもあることから、相談内容に応じて柔軟な受付案内を行います。また、本事業において対応できない場合は、他制度を紹介するなどして、市民の困りごとに可能な限り対応できるようにしています。</li> </ul>
評価		

(11) 民生委員児童委員協議会事務、当事者団体への支援

■目標

- ①地区民生委員児童委員協議会との連携強化を図ります。
- ②当事者・団体の自主運営のための側面支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況					
①民生委員児童委員協議会 ・地区民生委員児童委員協議会の事務局として民生委員児童委員との連携を一層強化し、小地域での福祉活動を推進していきます。また、一斉改選の年であり、円滑な業務引継ぎに努めると共に、新任民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりを進めます。 ◇各地区定例会、専門部会の事務調整（定例会 各地区年6回、専門部会 随時） ◇視察研修の企画、同行支援（各地区年1回） ◇相談連携（同行訪問等 随時）	100%	①民生委員児童委員協議会					
		① 協議会名	定数	委員数	定例会	役員会	専門部会
		浜島地区民生委員児童委員協議会	18名	14名	6回	5回	0回
		大王地区民生委員児童委員協議会	20名	15名	6回	0回	6回
		志摩地区民生委員児童委員協議会	31名	30名	6回	7回	17回
		阿児地区民生委員児童委員協議会	49名	40名	6回	5回	2回
		磯部地区民生委員児童委員協議会	23名	22名	6回	5回	6回
・視察研修の企画、同行支援 浜島地区、大王地区（合同実施）：やまなみ工房見学（滋賀県） 大王地区：名張市子ども支援センター見学 志摩地区：やまなみ工房、子育てはうす ぱすてる見学（滋賀県、岐阜県） 阿児地区：京都市民防災センター、NPO法人ハートフレンド見学（京都府、大阪府） 磯部地区：やまなみ工房見学（滋賀県）							

<p>②老人クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市老人クラブ連合会、各町老人クラブの自主運営を支援します。</li> </ul> <p>◇志摩市老人クラブ連合会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市老人クラブ連合会会合への参加（会長会議1回、役員会年6回）</li> <li>・スポーツ交流大会、役員研修会への協力（各年1回）</li> </ul>	<p>100%</p>	<p>②老人クラブ</p> <p>◇志摩市老人クラブ連合会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市老人クラブ連合会会合参加 ・会長会議（5/11：1名）、役員会（5/25、7/18：各1名）</li> <li>・三重県老人クラブリーダー中央研修会参加 送迎支援（7/12 津市：1名）</li> <li>・志摩市老人クラブ連合会スポーツ交流大会参加(11/8：1名)</li> <li>・市老連役員研修会参加(2/7：1名)</li> </ul> <p>◇各町老人クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿児町老人クラブ連合会会合参加 ・会長会議（7/11：1名）、理事会（9/4：1名）</li> <li>・阿児町老人福祉大会運営支援（10/24：1名）</li> <li>・浜島町敬老会運営支援（11/26：1名）</li> </ul>
<p>③障がい者団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市障がい者福祉会をはじめ、障がい者関連団体の自主運営を支援します。</li> </ul> <p>◇志摩市障がい者福祉会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市障がい者福祉会会合への参加（総会1回、理事会6回）</li> <li>・志摩市障がい者福祉体育大会、志摩市障がい者福祉大会、忘年芸能発表会への協力（各年1回）</li> </ul> <p>◇志摩市視覚障がい者福祉会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市視覚障がい者福祉会会合への参加（総会1回）</li> </ul>	<p>50%</p>	<p>③障がい者団体</p> <p>◇志摩市障がい者福祉会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期総会（5/9：2名）</li> <li>・理事会（6/13、8/6、9/19、10/9、11/14：各2名）</li> <li>・公開研修・交流会『たのしむ福祉のつどい』（7/25：2名）</li> <li>・障がい者福祉体育大会（10/10：6名）</li> <li>・志摩市障がい者福祉会 福祉大会、芸能発表会（12/12：3名）</li> <li>・公開研修・交流会（2/2：1名）</li> </ul> <p>◇志摩市視覚障がい者福祉会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市視覚障がい者福祉会会合参加：定期総会（4/25：3名）、理事会（8/22：1名）</li> <li>・ふれあい交流会（11/21：4名）</li> </ul>

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区民生委員児童委員協議会との連携及び各団体への支援を継続的に行い、連携を強化しています。</li> <li>・当事者団体は地域の協力者でもあることから、出来る限りの対応をしています。しかし、各団体会員の高齢化の現実もあり、昨年よりも支援の声が多くある中、可能な範囲で相談、支援調整を図っています。</li> </ul>
評価 B	

## 2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・支出予算 11,378千円

### (1) 地域見守り事業

#### ■目標

- ①地域での支えあい活動や交流、見守り活動の促進に努めます。
- ②地域見守り支援内容を見直し、小地域での見守りの体制などの方法を検討していきます。

#### ■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																					
①見守り配食サービスを実施します。	100%	①見守り配食サービス（定期訪問） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ実施回数</td> <td>21回</td> <td>24回</td> <td>12回</td> <td>20回</td> <td>22回</td> <td>99回</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>606名</td> <td>236名</td> <td>1,151名</td> <td>707名</td> <td>1,852名</td> <td>4,552名</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	延べ実施回数	21回	24回	12回	20回	22回	99回	延べ利用者数	606名	236名	1,151名	707名	1,852名	4,552名
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																	
延べ実施回数	21回	24回	12回	20回	22回	99回																	
延べ利用者数	606名	236名	1,151名	707名	1,852名	4,552名																	
②会食会を開催します。 (社協実施：浜島、志摩、磯部 各町年1回) (地域実施協力：大王、阿児 各町年1回)	0%	②下半期に会食会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止としました。																					

#### ■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期訪問については、計画どおり実施し、見守りや交流の機会となりました。</li> <li>・調理・配達ボランティアの高齢化、不足が心配となっています。また次年度は、会食会の在り方を含めた見守り支援内容を見直し、小地域での見守り体制について検討していきます。</li> </ul>
評価 C	



		甲賀地区福祉委員会	9名	見守り活動、サロン運営、地区福祉課題の把握	65,000円
		合計			580,000円

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より1団体（塩屋）増え、市内9地区の福祉委員会へ活動助成金を交付しました。</li> <li>・地区福祉委員会の運営と活動場面を訪問し、必要な協力を実施しています。</li> <li>・今後も引き続き地域支援コーディネーターによる側面支援を実施します。</li> </ul>
評価	B

(3) 地域ふれあいサロン支援事業

■目標

①地域で孤立することなく安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民が主体となって取り組む交流拠点づくりを支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																					
①地域支援コーディネーターの随時訪問により、日頃のサロン活動の想いや活性できるプログラム作りを支援します。	100%	①プログラム作りへ助言や運営への参加協力を通して、サロン活動への支援を行いました。																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問件数</td> <td>18件</td> <td>7件</td> <td>19件</td> <td>35件</td> <td>23件</td> <td>102件</td> </tr> <tr> <td>支援件数</td> <td>13件</td> <td>2件</td> <td>25件</td> <td>21件</td> <td>24件</td> <td>85件</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	訪問件数	18件	7件	19件	35件	23件	102件	支援件数	13件	2件	25件	21件	24件	85件
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計															
訪問件数	18件	7件	19件	35件	23件	102件																	
支援件数	13件	2件	25件	21件	24件	85件																	
②助成金の交付を行います。 (47団体、上限30,000円)	104%	②助成金の交付状況																					
③新規サロン設置の支援を行います。		100%	③相談には随時応じ、今年度新たに3団体のサロンが立ち上がりました。																				
			※サロン活動の活性化、地域住民への分かりやすい情報提供を目指し、サロンパンフレットの作成を予定しています。上半期には、企画立案及び実施状況の把握に向けて各サロンとの調整に入りました。																				

■評価

目標の達成度	・住民主体の拠点づくりのひとつの形として、サロン活動の支援を継続して行っています。今後、サロン参加者を増やしつつ、サロンの実態把握を行うためにサロンパンフレットを作成し、サロン活動の活性化に向けて引き続き支援を行っていきます。
評価	

(4) 福祉学習の支援

■目標

- ①児童・生徒が体験学習の機会をとおして、社会福祉に理解と関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるとともに、家庭及び地域社会への啓発を図り、地域福祉の向上を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況				
①福祉体験学習を実施します。 ・交流体験を通して高齢者や障がい者への理解を深めます。 ◇夏休みデイサービス体験 ◇防災デイキャンプ	100%	①福祉学習				
		地区	期日	内容	会場	参加者
		阿児	6月4日	車いすの使い方	鵜方小学校	鵜方小学校4年生 児童81名
			12月5日	視覚障がい者との交流、点字による自己紹介文 玄関からガイドヘルプ	鵜方小学校	鵜方小学校4年生 児童91名
			1月30日 1月31日	高齢者疑似体験学習	東海小学校	東海小学校5年生 児童56名
			2月3日	視覚障がい者との交流、アイマスク体験	東海中学校	東海中学校1年生 生徒57名
			2月21日	車イス体験、学習	東海小学校	東海小学校3年生 児童51名
			2月27日	視覚障がい者との交流、点字についての学習	神明小学校	神明小学校4年生 児童33名
7月29日	夏休み福祉体験教室「デイサービス体験」		サンライフあご	東海中学校		

			7月31日 8月5日 8月6日 8月7日			生徒3名 文岡中学校 生徒7名																																			
		浜島	8月9日	夏休み福祉体験教室「デイサービス体験」	さくら苑	浜島中学校 生徒1名																																			
		磯部	7月29日 8月2日	夏休み福祉体験教室「デイサービス体験」	かがやき	磯部中学校 生徒14名																																			
		全域	11月30日	防災デイキャンプ（台風のため11月に延期）	志摩文化会館	市内小学校 3～4年生 児童17名																																			
②助成金の交付を行います。 (13校、上限60,000円)	100%	<p>※大王地区及び志摩地区の夏休み福祉体験教室「デイサービス体験」は、募集をしたものの参加者はありませんでした。 ※3月3日、3月6日に予定していた神明小学校5年生と神明小学校2年生の福祉学習は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止となりました。</p> <p>②助成金の交付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,000円</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>30,000円</td> <td>2校</td> <td>1校</td> <td>2校</td> <td>4校</td> <td>2校</td> <td>11校</td> </tr> <tr> <td>60,000円</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>60,000円</td> <td>90,000円</td> <td>60,000円</td> <td>120,000円</td> <td>70,000円</td> <td>400,000円</td> </tr> </tbody> </table>						浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	10,000円	0校	0校	0校	0校	1校	1校	30,000円	2校	1校	2校	4校	2校	11校	60,000円	0校	1校	0校	0校	0校	1校	合計	60,000円	90,000円	60,000円	120,000円	70,000円	400,000円
		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																		
10,000円	0校	0校	0校	0校	1校	1校																																			
30,000円	2校	1校	2校	4校	2校	11校																																			
60,000円	0校	1校	0校	0校	0校	1校																																			
合計	60,000円	90,000円	60,000円	120,000円	70,000円	400,000円																																			
③ボランティア活動への関心や地域貢献への理解ができるための福祉教育を支援するために、学校と協働し福祉体験プログラムを進めます。	100%	③ ①の表参照																																							

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の学校を福祉協力校とし、学童生徒が福祉やボランティアを学ぶきっかけづくりを推進する事業費助成を行いました。また、防災について体験を通じて学べるよう防災デイキャンプを企画実施しました。</li> <li>・車椅子の体験教室では、車イスを使用している人の気持ちに寄り添って支え合う大切さをボランティア団体とともに学び合いました。また、視覚障がいについての福祉学習は、志摩市視覚障がい者福祉会ボランティア部に講師を依頼し、地域住民と学校を結び付けつつ、学習に臨みました。</li> </ul>
評価	

(5) ボランティア活動支援

■目標

- ①地域福祉を進めるボランティア団体やまちづくりに取り組む市民の方々への相談対応・情報提供・活動支援を推進していきます。
- ②地域福祉を進めるボランティア団体やまちづくりに取り組む市民の方々の活動を支援し、また新たな人材を発掘していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																
①助成金の交付を行います。 (49団体、上限10,000円)	100%	①ボランティア支援、団体情報、助成金など																																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 12.5%;">浜島町</th> <th style="width: 12.5%;">大王町</th> <th style="width: 12.5%;">志摩町</th> <th style="width: 12.5%;">阿児町</th> <th style="width: 12.5%;">磯部町</th> <th style="width: 12.5%;">市外等</th> <th style="width: 12.5%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・助言</td> <td>15 件</td> <td>8 件</td> <td>11 件</td> <td>21 件</td> <td>24 件</td> <td>0 件</td> <td>79 件</td> </tr> <tr> <td>登録団体数</td> <td>7 団体</td> <td>9 団体</td> <td>6 団体</td> <td>13 団体</td> <td>14 団体</td> <td>0 団体</td> <td>49 団体</td> </tr> <tr> <td>登録団体会員数</td> <td>80 名</td> <td>184 名</td> <td>100 名</td> <td>167 名</td> <td>373 名</td> <td>0 名</td> <td>904 名</td> </tr> <tr> <td>個人登録者数</td> <td>6 名</td> <td>1 名</td> <td>21 名</td> <td>28 名</td> <td>24 名</td> <td>2 名</td> <td>82 名</td> </tr> <tr> <td>活動費の助成 上限 10,000 円/1 団体</td> <td>60,000 円</td> <td>50,000 円</td> <td>47,000 円</td> <td>114,000 円</td> <td>140,000 円</td> <td>0 円</td> <td>411,000 円</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外等	合計	相談・助言	15 件	8 件	11 件	21 件	24 件	0 件	79 件	登録団体数	7 団体	9 団体	6 団体	13 団体	14 団体	0 団体	49 団体	登録団体会員数	80 名	184 名	100 名	167 名	373 名	0 名	904 名	個人登録者数	6 名	1 名	21 名	28 名	24 名	2 名	82 名	活動費の助成 上限 10,000 円/1 団体	60,000 円	50,000 円	47,000 円	114,000 円	140,000 円	0 円	411,000 円
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外等	合計																																									
		相談・助言	15 件	8 件	11 件	21 件	24 件	0 件	79 件																																									
		登録団体数	7 団体	9 団体	6 団体	13 団体	14 団体	0 団体	49 団体																																									
		登録団体会員数	80 名	184 名	100 名	167 名	373 名	0 名	904 名																																									
個人登録者数	6 名	1 名	21 名	28 名	24 名	2 名	82 名																																											
活動費の助成 上限 10,000 円/1 団体	60,000 円	50,000 円	47,000 円	114,000 円	140,000 円	0 円	411,000 円																																											
②ボランティア同士の研鑽や交流を目的にボランティア交流会を開催します。(年1回)	30%	②3月7日(土)に予定していたボランティア交流会は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、来年度春頃に延期となりました。																																																
③子どもボランティアの募集を行います。 ・地域の活動機会へのコーディネートを行	70%	③浜島地区民生委員児童委員協議会主催のふれあい喫茶において、子どもボランティアの募集を毎回呼びかけ、活動機会のコーディネートを行いました。(5月:4名、7月中止、9月:7名、11月:3名、1月:5名、3月																																																



<p>います。（浜島ふれあい喫茶：年6回）</p> <p>④地域協力ボランティアの募集を行います。</p> <p>・地域の拠点づくり等に伴う協力支援員のための講座の実施と募集を行います。（年1回以上）</p>	<p>100%</p>	<p>中止)</p> <p>④11月22日に「傾聴ボランティア養成講座」を、2月25日に「傾聴ボランティアスキルアップ講座」を開催しました。（養成講座：25名、スキルアップ講座24名）</p> <p>－ ⑤（計画外）10月の台風19号による畔名地区の水害に対して、市内外のボランティアの力を得て、3戸の家財道具出しと臨時集積所までの運搬を行いました。また、浸水家屋の床下乾燥や消毒について、特定非営利活動法人DRT-JAPAN 三重の指導を得て、志摩市役所と協力して作業を行いました。各支援においては、畔名自治会と連携してニーズ把握を行いました。なお、同月の大雨被害と併せて、浸水世帯へ訪問し、見舞い品の配付と相談窓口の周知を行いました。</p>
--	-------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 815 282 868"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ボランティアやボランティア団体からの相談は昨年度に比べ増加しており、住民のボランティア活動への関心の高さを伺うことができます。担当の地域支援コーディネーターとともに相談・調整等を丁寧に行い、引き続き活動の支援を行っていきます。</li> <li>・中でも傾聴ボランティアに関する相談の割合が高いことから、下半期は「傾聴」に関する講座を2回実施し、新たな人材の発掘に努めるとともに傾聴ボランティア活動の活性化を図りました。</li> <li>・再来年に開催を予定している「三重とこわか国体及び大会」ボランティアを、志摩市国体推進室へ協力して募集しました。</li> </ul>
評価	B		

(6) 共同募金配分委員会の運営

■目標

- ①社会福祉を目的とする団体や事業に対し、公平中立な立場で配分金を配分できるよう運営していきます。
- ②配分金の効果的な配分方法を見出します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①配分金事業を精査・検証し、効果的な配分	100%	①第1回配分委員会（5月31日開催）では、31年度充当の配分事業の変更・計画、31年度充当の配分事業の計画に

<p>計画を検討します。(配分委員会年3回)</p> <p>②助成事業のプレゼンテーションの開催とともに、共同募金配分助成審査会を開催します。(年1回)</p> <p>③学童・生徒のボランティア活動普及事業補助金の助成方法(対象・金額)を見直します。(6月まで)</p> <p>④配分金交付要綱の見直しを検討します。</p>	<p>100%</p> <p>0%</p> <p>0%</p>	<p>について検討しました。</p> <p>第2回配分委員会(6月9日)では、共同募金助成審査会(プレゼンテーション)とその審査結果から申請団体13団体への配分のあり方、自治会等への助成額見直しの検討をしました。</p> <p>第3回配分委員会(3月6日)は、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度充当の配分事業の見込みと、共同募金配分助成公開プレゼンテーション審査会について、配分委員へ書面による意見収集を行いました。</p> <p>②共同募金助成審査会(6月9日)では、配分委員4名と女性の会関係者4名が審査員となり、申請13団体のプレゼンテーションによる審査を実施しました。</p> <p>③学童・生徒のボランティア活動普及事業補助金の助成方法の見直しは未着手です。令和2年8月に示される三重県共同募金会の配分金交付要綱の見直しと連動して進めていきます。</p> <p>④配分金交付要綱の見直し検討は未着手です。令和2年8月に示される三重県共同募金会の配分金交付要綱見直しと連動して進めていきます。</p>
--	---------------------------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <p>評価 C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配分委員会及び共同募金配分審査プレゼンテーションは計画どおり実施しました。</li> <li>・助成事業の見直しの取り組みは、三重県共同募金会の配分金交付要綱見直しと連動して進めていきます。</li> </ul>
---------------------------	--

3. 生活福祉資金貸付事業(受託事業) . . . . . 支出予算 202千円

■目標

①三重県社会福祉協議会から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付と必要な援助指導を行ない、経済的に安定した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①生活福祉資金の借り入れについて、貸付	90%	①貸付相談

相談を実施します。(随時)

・相談件数

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	不明	合計
相談・助言	6件	22件	17件	107件	26件	2件	180件

・貸付件数

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
年度当初既貸付件数	7件	10件	24件	80件	14件	135件
年度内新規貸付件数	0件	1件	1件	7件	5件	14件
年度内償還完了等件数	3件	0件	2件	6件	2件	13件
年度末貸付件数	4件	11件	23件	81件	17件	136件

②現在の貸付世帯の中で、定期的に滞納者の生活状況を確認し、借入れ資金への償還指導を行います。

償還指導の進捗率=29/110件

26%

②生活状況の把握と償還支援

- ・自立、生活意欲の助長促進に向けた更なる相談援助と償還支援を行いました。
- ・償還対象者全員に対し6月、9月に償還案内を送付し、6ヵ月以上返済が滞っている方には督促状を送付しました。
- ・償還支援対象者の生活状況について、民生委員等と相談の上、訪問、電話、文書、来所面談による支援を実施しました。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
償還支援対象者件数	7件	9件	21件	65件	14件	116件
償還支援実施回数	2回	9回	11回	34回	17回	73回
償還に繋がった件数	1件	4件	2件	9件	5件	21件

③生活福祉資金貸付担当者研修会へ参加します。(年2回)

50%

③生活福祉資金職員研修会

日時：令和元年5月22日

会場：三重県社会福祉協議会3階 参加1名

※下半期の職員研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮して不参加。

◎新型コロナウイルス感染症特例貸付説明会

3月25日から開始する新型コロナウイルス感染症特例貸付の窓口業務開始に伴い、事務手続き説明会へ参加しました。

日時：令和2年3月23日 10:00~11:30

会場：三重県社会福祉協議会3階 参加1名

	<p>◎新型コロナウイルス感染症特例貸付の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活資金が不足する世帯を対象に緊急小口資金、総合支援資金（生活支援資金）の貸付業務を開始しました。（3月25日から受付開始）</li> </ul> <p>期間 : 3/25～3/31</p> <p>相談場所：サンライフあご2階</p> <p>相談件数：緊急小口資金17件、総合支援資金0件</p> <p>申請受付数：緊急小口資金4件、総合支援資金0件</p> <p>※①の貸付相談、貸付件数については、新型コロナウイルス感染症特例貸付の相談件数を含めておりません。</p> <p>※令和2年4月からも継続して貸付相談受付を行なっています。</p>
--	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="89 734 291 790"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県社会福祉協議会から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付と援助指導を行い、経済的に安定した生活を送れるよう支援しました。中でも、督促状が発行されている滞納者に対して連絡を促し、現在の生活状況の把握から償還促進につなげることができました。</li> <li>・研修会には積極的に参加し、支援に活用しています。今後は、さらに貸付世帯との良い関係を構築し自立生活と償還率向上につなげていきます。</li> <li>・3月下旬からは新型コロナ特例貸付の相談が増加している中、市民のみなさまの緊急の生活資金確保と自立支援への最後の砦としての役割と捉え、生活福祉の任務を継続実施しています。</li> </ul>
評価	B		

4. 会員サービス事業・・・・・・・・・・支出予算（法人運営事業に包含）

■目標

①磯部町内の自治会に対し、見守り支援員活動を依頼し、助けあい活動の機運を高め安否確認活動を促進します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①見守り支援員を対象とした研修会を実施します。</p> <p>・見守り支援や相談体制についての理解を</p>	<p>100%</p>	<p>①見守り支援員研修会の開催。</p> <p>日時：①令和元年9月6日（金）19:00～20:30、②令和元年9月13日（金）19:00～20:30</p> <p>会場：磯部健康福祉センターかがやき ①多目的ホール、②研修室</p>

再認識することを目的に研修会を開催します。（年1回、26地区、170名）		参加：①41名、②13名 ※見守り支援員の参加率は28%でしたが、地区の代表者が参加しているケースが多く、地区としての参加率は64%でした。 内容：講義「見守り支援員成り立ちの経緯とその意義」「認知症サポーター養成講座」
--------------------------------------	--	--

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>磯部地区では22地区の自治会が156名の見守り支援員活動を行っています。前年度の反省を踏まえ、今年度は上半期に研修会を開催しました。地域の中で認知症の方と関わる機会が多い見守り支援員という立場に対して、認知症への理解を深めるため、市役所介護・総合相談支援課より認知症サポーター養成講座を行っていただきました。講義内容はわかり易く、講義後のグループディスカッションでは様々な意見や体験談を話し合い、有意義な研修になりました。来年度は今回参加ができなかった矢、渡鹿野など遠方の地区の研修会参加を促していきます。</li> <li>見守りが必要な方に対し、自治会長を通じて見守り支援員に見守り活動を依頼しました。山田地区では欠員となっていた社協が実施している「見守り配食事業」の宅配ボランティアを、見守り支援員より選出いただきました。</li> </ul>
----------------	--

5. 介護予防事業（受託事業）・・・・・・支出予算 416千円

(1) 介護予防事業（家族介護教室）

■目標

①介護者の負担軽減や、今後の家族介護に備えるため、介護の基礎的な知識やスキルを身につける機会や情報共有できる機会を提供します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①家族介護教室を開催します。（年2回開催）	100%	①・第1回 令和元年10月7日（月）5町合同で実施しました。 講師：三重県立看護大学 六角 僚子 教授 「認知症の予防やケアについて学ぼう」と題して、認知症にならないために日頃注意することや、自分や家族が認知症になってしまった際のケアについて、知識を深める機会となりました。 今後の介護に役立てていただくことや、日頃の介護不安の解消と介護者同士の交流による気分転換を図りながら、介護の継続に向けての意欲の維持、向上を図ることを目的に開催しました。 [参加者数：浜島22名 大王：4名 志摩10名 阿児19名 磯部12名 計77名]

②各地区介護者の会と連携を図り、地域の介護者を支えていく地域づくりを進めます。	100%	・第2回 施設見学会（志摩介護老人保健施設志摩の里、特別養護老人ホームビビアン）を地区毎に開催しました。身体状況や経済状況に応じた高齢期の施設の選び方を学び、実際に見ることで生活についての認識を深める機会となりました。 [参加者数：2/13（39名）、2/14（20名）、2/18（23名）、2/20（37名） 計119名] ②各地区介護者の会の行事の際に、連絡調整・啓発チラシの作成等の運営支援を行いました。
---	------	---

■評価

目標の達成度 評価 B	・計画通り2回開催しました。2回とも多くの参加があり、介護の知識を得ていただくとともに、参加者同士の交流・情報交換によりリフレッシュする機会となりました。今後も関心の高い内容の検討や、現在介護している方、一人で負担を抱えている方等の参加を促す工夫が必要です。 ・地域の介護者同士の自主的な活動を促進するため、必要な支援を行います。
----------------	--

6. 日常生活自立支援事業（受託事業）・・・・・・支出予算 7,632千円

(1) 日常生活自立支援事業

■目標

①判断能力に不安のある高齢者、障がいのある人などに福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類などの預かりサービスを行ない、できる限り地域で自立した生活が送れるよう支援します。また、南伊勢町への利用移行に伴い円滑な移行連携を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																								
①新規利用者の相談支援を行います。（随時）	100%	①実施状況 <table border="1" data-bbox="745 1181 1971 1430"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・助言</td> <td>1件</td> <td>6件</td> <td>1件</td> <td>6件</td> <td>2件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>利用契約数</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>解約数</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>9名</td> <td>11名</td> <td>2名</td> <td>26名</td> <td>7名</td> <td>55名</td> </tr> </tbody> </table>							浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	相談・助言	1件	6件	1件	6件	2件	16件	利用契約数	0件	3件	1件	3件	0件	7件	解約数	0件	3件	3件	3件	1件	10件	利用者数	9名	11名	2名	26名	7名	55名
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																				
相談・助言	1件	6件	1件	6件	2件	16件																																				
利用契約数	0件	3件	1件	3件	0件	7件																																				
解約数	0件	3件	3件	3件	1件	10件																																				
利用者数	9名	11名	2名	26名	7名	55名																																				

		内訳	認知症	3名	5名	1名	4名	2名	15名	
			知的障がい	4名	3名	1名	11名	3名	22名	
			精神障がい	1名	3名	0名	8名	2名	14名	
			その他	1名	0名	0名	3名	0名	4名	
		生活支援員数	3名	1名	1名	5名	0名	10名		
		生活支援員訪問回数	217回	214回	28回	384回	126回	969回		
		専門員訪問回数	10回	11回	21回	59回	18回	119回		
		その他	285回	582回	242回	1,355回	327回	2,791回		
		◆相談・助言／問い合わせ件数、初回相談件数								
		◆その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数								
②契約締結審査会へ参加します。 (三重県社協 年1回)	100%	②契約締結審査会 日：4/23、11/19 会場 三重県社会福祉協議会 参加者：専門員延2名								
③日常生活自立支援事業担当者研修会へ参加します。	100%	③日常生活自立支援事業担当者研修会（総合相談・生活支援事例検討会） 日：12/10 会場：三重県社会福祉協議会 参加者：専門員1名								
④生活支援員等研修会へ参加します。 (三重県社協 年1回)	66%	④生活支援員等研修会 日：11/27 会場：三重県総合文化センター 参加者：11名（生活支援員8名、専門員2名、引率1名） ◎その他研修会 ・遺言、成年後見教室 日：8/2、8/5 会場：志摩市役所 参加者：各日1名（計2名） ・障がい者虐待防止研修会 日：2/4 会場：志摩市役所 参加者2名								
⑤利用者再評価の定期実施を行います。	100%	⑤再評価（利用者の自立支援に向けた再評価の定期実施） ・3ヵ月毎に実施する新規ケースの再評価（8件） ・6ヵ月毎の継続ケース再評価（110件）								
⑥法人後見支援との連携を図っていきます。	100%	⑥本会実施の法人後見受任者と関わりがあるケースについては、情報や支援方法を共有するなど、随時連携を図っています。								

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用新規契約 7 件 解約件数 10 件となり、新規の相談については、引き続き多くの課題を抱えている方の割合が高く、関係機関との連携を更に進めていく必要があります。解約件数については利用者の死亡によるものと、施設等入居のケースが主となっています。</li> <li>・日常生活自立支援事業については、まだまだ支援を必要としている方が潜在しているものと思われます。高齢化や認知症、障がい程度の多様化、家族関係の維持が課題とも言えます。昨今では日常生活自立支援以外の相談も付随して多く寄せられています。関係機関との連携で本会の役割をもう一度見直し、必要とされる支援の構築が喫緊の課題と考えています。</li> </ul>
----------------	--

7. 生活困窮者自立支援事業（受託事業）・・・・・・支出予算 22,253千円

(1) 生活困窮者自立支援事業

■目標

- ①自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業を一体的に実施しており、複合的な課題に対して適切に見立て、コーディネートが求められることから、各事業が専門性を持ち相談支援が実施できるように職員の資質向上に努めます。
- ②啓発方法の見直しと関係機関との連携を強化し、相談窓口に繋がらない方、支援サービスにアクセスできない方が相談につながるようにしていきます。
- ③関係機関や地域関係者と、地域就労の支援について検討する機会をつくります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①研修会、会議等への参加 自立相談支援事業従事者養成研修会・家計改善支援事業従事者養成研修へ参加します。 県主催自立支援機関研修会、意見交換会、事例検討会へ参加します。 関係機関が主催する研修会、会議へ参加します。（関係機関：就労支援、引きこもり支援、子どもの貧困、こころの健康づくり、障がい者支援、高齢者支援）	100%	①研修会へ参加 ・養成研修（国研修）参加：自立相談支援事業従事者養成研修前期（9月、2泊3日、1名）、家計改善支援事業従事者養成研修（8月、2泊3日、1名）就労支援員従事者養成研修（12月、2泊3日、1名） ・生活困窮者自立支援事業 東海・北陸ブロック研修（1月、1名） ・県主催研修会への参加：家計改善支援事業従事者研修会（11月、2名） ・主任相談支援員意見交換会（6月、1名） ・都道府県研修企画委員会（5月、6月、8月） ・関係機関主催研修会、会議出席：志摩市総合相談研修会「地域福祉計画」（6月、4名） ・職業紹介責任者講習会（11月、1名）



②自立相談支援機関について

早期に支援が受けられるように、関係機関との連携調整を行います。また、生活困窮者の家族、その他の関係者からの相談も受け止め、本人の自立に向けたプランの作成を行います。

100%

- ・就労支援基礎研修（7月3日間・1名）
- ・就職氷河期世代活躍支援のための関係者研修会（1月、1名）
- ・食糧支援に関するワークショップ（10月、1名）
- ・依存症に関するセミナー（8月、2名）
- ・引きこもり研修（9月、2名）
- ・こころの健康づくり及び自殺予防対策ネットワーク会議（7月・1名）

②自立相談支援事業相談件数

	新規相談件数	プラン作成件数
令和元年度	84件	30件

・みえ福祉の「わ」創造事業利用実績

	緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業（交通費助成）
令和元年度	55件	6件	111件

・自立相談支援機関主催：支援調整会議（月1回）

出席者：就労準備支援事業担当者、家計改善支援事業担当者、生活福祉資金担当者、志摩市生活支援課、介護・総合相談支援課、健康推進課、こども家庭課、志摩市障がい者相談支援センターこだま

・ケース会議へ出席（こども関係、障がい関係等）

③家計改善支援事業

100%

	利用者数
令和元年度	11名

- ・債務整理の支援に関し、無料法律相談を活用して専門的な相談につなげました。
- ・令和元年5月から専任の担当者として、契約職員を配置しました（法人後見兼務）。
- ・家計支援の必要と思われるケースの会議へ出席（こども関係、障がい関係等）し、連携を図りました。
- ・家計表、キャッシュフロー表を本人と一緒に作成し、家計の「見える化」を図りました。

④就労準備支援事業

100%

	利用者数
令和元年度	6名

③家計改善支援事業について

家計担当職員を配置し、家計改善に向けたプランを作成します。

債務相談等については、司法書士や弁護士による法律相談が必要時に相談できる体制にしていきます。

④就労準備支援事業について

直ちに就労が難しい人（高齢者含）の就労体験、生活習慣の改善をします。就労

<p>体験場所を増やし、本人に合わせた就労体験が出来るようにしていきます。</p> <p>⑤事業啓発を行います。</p> <p>生活困窮の事例を交えた理解しやすいカタチでの事業紹介を行っていきます。また、各事業のパンフレットを作成し、関係機関へ配布します。(福祉、就労、教育、税務、住宅等)</p> <p>⑥関係機関と連携し地域づくりに取り組みます。</p> <p>・関係機関との事例検討会を開催します。</p> <p>・アンケート調査を実施します。</p> <p>(地域に近い存在である民生委員や福祉関係者との関係づくりと、地域での支援の手が挙げにくい状況の方の把握を行います。</p> <p>・個別事例の課題から社会資源についての検討や地域支援の把握を行います。</p>	<p>100%</p> <p>100%</p>	<p>※プログラム作成の支援メニュー(1)～(6)</p> <p>(1)障がい者就労支援事業所での就労体験 (2)日課の見直し、体力づくり (3)就職試験に向けた取り組み (4)介護事業所での介護体験 (5)自力通勤への取り組み (6)パソコン入力の練習</p> <p>・訓練先までの交通費を「みえ福祉の「わ」創造事業」就労活動支援事業で助成しました。</p> <p>・就労体験先として、新たに1事業所(本会外の事業所)で受け入れてもらいました。</p> <p>・就労体験に関する要項を作成し、円滑な就労体験実施ができるように整備しました。</p> <p>⑤事業啓発</p> <p>(1)関係機関での事業説明</p> <p>・総合相談担当者研修会(7月)</p> <p>・生活支援課新人職員勉強会(7月)</p> <p>※事業説明は、生活困窮者支援の実情についての事例を交えて実施しました。</p> <p>(2)生活困窮者自立支援事業研修会</p> <p>・ふんばり主催で、地域住民を対象に実施しました。</p> <p>・講師を招き、生活困窮者支援の制度や実情等を説明し、生活困窮者自立支援事業の啓発を図りました。</p> <p>◆日時：令和2年2月6日 ◆場所：志摩市役所4階 401会議室 ◆参加者：60名</p> <p>◆講師：新保美香(明治学院大学 教授)</p> <p>◆内容：「これからの生活困窮者支援～誰もが安心して暮らせる志摩市を目指して～」</p> <p>⑥関係機関と連携、地域づくり</p> <p>・地域の医療と介護に関する研修会「引きこもり事例発表」事業説明 (8月)</p> <p>主催：志摩市介護・総合相談支援課、志摩市民病院</p> <p>・平成30年度アンケート報告：民生委員児童委員連絡協議会定例会(8月4地区・10月1地区)</p> <p>志摩市地域自立支援協議会定例会(9月)</p> <p>・令和元年度ニーズ調査依頼：民生委員児童委員連絡協議会定例会(2月)</p> <p>・志摩市相談支援調整会議へ出席し、制度のはざまの相談、困難事例の対応(随時)</p> <p>・「志摩市相談支援調整会議・地域支援コーディネーター」定例連携会議出席(月1回)</p> <p>・各地区の民生委員児童委員連絡協議会定例会への出席</p> <p>・伊賀市社会福祉協議会ひきこもりサポート事業「nest」への視察研修(2月) ※志摩市生活支援課職員2名同行</p>
---	-------------------------	---

<p>⑦就労支援については、障がい福祉と連携し、企業開拓を行います。 ⇒企業に対し生活困窮相談者が働き手としての可能性をアプローチすることと、障がい者雇用との就労連携を行います。</p>	<p>100%</p>	<p>⑦就労支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい福祉と連携：志摩市地域自立支援協議会「働く」プロジェクトチーム会議へ出席（月1回）しました。プロジェクトチームとともに企業訪問しました。（1企業） 本会内の障がい福祉部門とも企業訪問しました。（1企業） 障がい者就労・生活支援センター結と企業訪問を実施しました。（1企業）</li> <li>・派遣会社の社長の紹介により企業見学をしました。（1企業）</li> <li>・就労支援員と就労準備支援事業担当者が企業訪問等を実施しました。（6企業）</li> </ul>
---	-------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="89 619 280 673"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の相談件数が81件であり、今年度は84件と微増でした。相談件数は増加傾向にはありますが、まだまだ認知度が低い現状はありと考えられます。そのため、生活困窮者支援について広く認知されるように事業啓発やアウトリーチ等を引き続き行い、生活に困っている人を早期発見・早期支援できるように努めていきます。また、各種研修会や会議へ参加することにより、自己研鑽の機会を作ることや他機関との関係性構築に努め、より良い相談支援ができるようにしていきます。</li> <li>・今年度は就労準備支援事業において新たな就労体験先の開拓ができました。しかし、まだまだ少ないのが現状です。そのため、来年度以降も引き続き事業啓発や企業開拓等を進め、就労体験先の確保に向け取り組んでいきます。</li> </ul>
評価	B		

Ⅲ. 在宅福祉サービス事業

○居宅介護支援課（事業方針）

平成30年度の制度改正では、生活援助を多く位置付けたケアプランは届け出と市の地域ケア会議での検証が必要となる等、自立に向けたケアプランの作成が重要視されています。また、医療と介護の連携の強化、公正中立なケアマネジメントの確保、質の高いケアマネジメントの推進等ケアマネジャーに高い専門性が求められています。社会から求められている役割を果たしながら安定した事業所運営ができるよう取り組みを行います。

1. 居宅介護支援事業・・・支出予算 132,703千円

(1) 居宅介護支援事業

■目標

①介護支援専門員としての専門性を発揮し、要支援・要介護認定を受けた方への適切な予防プラン及びケアプランを作成します。

- ②高齢者がより充実した在宅生活を送ることができるよう、行政、サービス事業者、医療機関など関係機関との連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指します。
- ③専門員研修などに積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。
- ④要介護認定の訪問調査の依頼を受け、業務を行っていきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																				
①専門性を担保するため、1人5回以上外部研修に参加します。	160%	①1人平均約8回、外部研修に参加しました。(研修参加延べ回数208回1人平均8.2回参加)																				
②居宅情報交換会(会議)を開催します。(年6回)	100%	②6回居宅情報交換会を開催しました。(4月11日、6月13日、8月1日、10月16日、12月16日、2月18日)																				
③週1回の定例会及び月1回の事業所内研修会を開催します。	100%	③週1回の定例会及び月1回の事業所内研修会を開催しました。																				
④他の法人が運営する居宅介護支援事業者と共同で事例検討会、研修会等を実施します。(年1回)	100%	④11月13日、14日に開催しました。																				
⑤24時間連絡体制の確保及び相談に応じる体制を整えます。	100%	⑤従来からの24時間連絡体制を維持し、時間外相談に随時応じています。																				
⑥介護・総合相談支援課から紹介の困難事例に対応します。	100%	⑥地域支援包括センターから支援困難な利用者の紹介があった場合には引き受けられる体制を整えています。																				
⑦ケアプラン作成数の目標を1人あたり月35件とします。	85%	⑦作成者数は1人平均30件となっています。(障がいプラン合算)																				
		⑧営業実績 ・ケアプラン作成件数																				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">\</th> <th colspan="2" style="background-color: #cccccc;">大王事業所</th> <th colspan="2" style="background-color: #cccccc;">磯部事業所</th> <th colspan="2" style="background-color: #cccccc;">合計</th> </tr> <tr> <th style="background-color: #cccccc;">介護</th> <th style="background-color: #cccccc;">予防</th> <th style="background-color: #cccccc;">介護</th> <th style="background-color: #cccccc;">予防</th> <th style="background-color: #cccccc;">介護</th> <th style="background-color: #cccccc;">予防</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">4月～3月</td> <td style="text-align: center;">3,460件</td> <td style="text-align: center;">410件</td> <td style="text-align: center;">4,485件</td> <td style="text-align: center;">456件</td> <td style="text-align: center;">7,945件</td> <td style="text-align: center;">866件</td> </tr> </tbody> </table>	\	大王事業所		磯部事業所		合計		介護	予防	介護	予防	介護	予防	4月～3月	3,460件	410件	4,485件	456件	7,945件	866件
\	大王事業所			磯部事業所		合計																
	介護	予防	介護	予防	介護	予防																
4月～3月	3,460件	410件	4,485件	456件	7,945件	866件																

		[前年同月比]	-256	+62 件	-291 件	+135 件	-547 件	+197 件
		当期利益	-2,025,117 円		4,682,433 円		2,657,316 円	
		当期利益増減値 (対前年同月)	-5,959,759 円		-7,079,860 円		-13,039,619 円	
		当期利益前年同月比	-51.47%		39.81%		16.93%	
		・認定調査取り扱い件数						
			大王事業所	磯部事業所	合計			
		4月～9月	10 件	15 件	25 件			
		[前年同月比]	+1 件	+1 件	+2 件			
		・年度別推移						
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
		収入	149,330,020 円	148,916,010 円	147,506,234 円	138,963,594 円	130,578,288 円	
		延べ作成件数	9,565 件	9,628 件	9,545 件	8,337 件	7,945 件	
		当期利益	27,894,936 円	17,606,508 円	12,713,162 円	15,696,935 円	2,657,316 円	
		当期利益増減値	9,903,908 円	-10,288,428 円	-4,893,346 円	2,983,773 円	-13,039,619 円	
		当期利益前年比	155.05%	63.12%	72.21%	123.47%	16.93%	

■評価

目標の達成度	<p>・事業所内研修の開催、専門研修への参加、他の事業所との事例検討会を行うなど、行動計画の中の資質向上に関する目標は達成していますが、ケアプラン作成件数は減っています。一人当たりの目標達成件数に達していないことから努力が必要となります。今以上に利用者に満足いただけるサービスを提供し利用者が増加するよう努めます。</p>
評価	

(2) 障がい者相談支援事業

■目標

- ①相談支援専門員として、障がい者等の有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、適切なサービス等利用計画及び障害児支援利用計画を作成します。
- ②総合的なサービス提供ができるよう、関係市町、地域の保健、福祉、医療機関との連携に努めます。

③介護保険制度の介護支援専門員と密接に連携していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況															
①専門性を担保するため、1人2回以上外部研修に参加します。	245%	①1人平均4.9回、外部研修に参加しています。(研修参加延べ回数64回1人平均4.9回参加)															
②障がい者地域ケア会議に参加します。(年6回)	83%	②障がい者地域ケア会議に5回参加しました。(5月13日、7月1日、9月2日、11月11日、1月20日) 3月2日は開催中止															
③ケアプラン作成数の目標を1人あたり月35件とします。	85%	③作成者数は1人平均30件となっています。(介護プラン合算)															
		④営業実績															
		・計画相談件数															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>大王事業所</th> <th>磯部事業所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～3月</td> <td>172件</td> <td>97件</td> <td>269件</td> </tr> <tr> <td>[前年同月比]</td> <td>+32件</td> <td>+19件</td> <td>+51件</td> </tr> </tbody> </table>		大王事業所	磯部事業所	合計	4月～3月	172件	97件	269件	[前年同月比]	+32件	+19件	+51件			
	大王事業所	磯部事業所	合計														
4月～3月	172件	97件	269件														
[前年同月比]	+32件	+19件	+51件														
		・年度別推移															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>3,417,020円</td> <td>3,802,540円</td> <td>3,767,490円</td> <td>3,935,340円</td> </tr> <tr> <td>延べ作成件数</td> <td>204件</td> <td>228件</td> <td>218件</td> <td>269件</td> </tr> </tbody> </table>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	収入	3,417,020円	3,802,540円	3,767,490円	3,935,340円	延べ作成件数	204件	228件	218件	269件
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度													
収入	3,417,020円	3,802,540円	3,767,490円	3,935,340円													
延べ作成件数	204件	228件	218件	269件													

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	・利用サービスにより異なりますが、モニタリング期間が6か月から3か月になったことで対応件数が増えています。今後も障がいのある人が地域で生活する上での困りごとについての相談に応じ、事業所の資質向上に努め、関係機関と連携しながら、サービス利用計画を作成し福祉サービス利用の支援を行っていきます。
評価	B		

## ○訪問サービス課（事業方針）

今年度は、訪問介護事業、障害ヘルパー事業におきましては、利用者ニーズに沿った自立支援を促すサービス提供等を提案しながら、信頼性の高い事業運営に努めます。訪問入浴事業、訪問看護事業、福祉用具貸与事業では、居宅介護支援事業所への空き情報の報告や周知を行い新規利用者の確保に努めながら、体制の見直しと効率よい事業運営に努めます。訪問サービス課においては、今年度は利用者の減少、介護人材の確保、人材育成といった課題と向き合いながら、半期ごとの運営状況を注視し、次の通り取り組みを行います。また、働き方改革を踏まえた体制の見直し等を行い、健全な事業所運営に努めます。

### 1. 訪問介護事業・・・・・・・・支出予算 59,917千円

#### （1）訪問介護事業・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

##### ■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質の向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に行います。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。
- ④人材育成ができる体制づくりを行います。

##### ■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①毎月1回は、パート職員を含めたヘルパー会議を行います。	100%	①定期的にミーティングを行い、必要時には、利用者ごとにケース会議を開催し、支援方法等について話し合いました。2月、3月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体で集まらず少人数での開催としました。
②資質向上、専門性を担保するため、1人2回以上外部研修会に参加します。	100%	②基礎研修：6回 専門研修：9回 参加者：95名 介護サービスにおける応急救護について、食中毒予防について、安全運転について、防災について、個人情報保護法について、安全運転について2回 若年性認知症の理解について、キャリアパス対応研修、精神障がい者の支援を考える、知的障がいを伴った自閉症スペクトラム障がいの理解と対応について、認知症研修会、虐待対応スキル、サービス提供責任者スキルアップ研修、介護支援専門員更新研修、同行援護一般研修
③研修会参加者による伝達講習を実施します。	100%	③外部研修に出席した常勤職員が、ミーティングにて伝達講習を行いました。欠席者については個々に資料を配布し説明しました。
④毎月1回は、パート職員を含めた自主研	67%	④各拠点において自主研修会実施 24回 141名（志摩拠点：10回、大王拠点：10回、その他拠点：4回）

<p>修会を行います。</p> <p>⑤前年並みの利用者数を確保します。（障がいヘルパーと一体の運営）</p> <p>⑥職員確保に努めます。（常勤1名、パート職員1名以上）</p>	<p>104%</p> <p>0%</p>	<p>2月、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、資料配布にて行いました。</p> <p>内容：接遇・ヒヤリハット、認知症、感染症・食中毒の予防、救急時の対応、安全運転、虐待防止、個人情報保護 若年性認知症の理解、</p> <p>※特に、認知症、精神的不安定な利用者への支援方法については、毎回のミーティングで話し合いました。</p> <p>⑤利用者数は4.3%、訪問時間は2.9%と増加しており、内訳では身体介護、総合事業利用者が増加しました。 ※身体介護が増加した理由として、自立支援を目的としたプランの増が考えられます。また、総合事業については、訪問型サービスの提供事業所が少ないため、当事業所への依頼が増え、新規利用者の増加となりました。</p> <p>⑥パート職員1名の増がありましたが、高齢を理由としたパート職員1名の退職があり職員数の増加にはつながりませんでした。</p> <p>⑦営業実績</p> <p>・延べ利用者数及び述べサービス提供時間</p> <table border="1" data-bbox="752 683 2145 880"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">延べ利用者数</th> <th rowspan="2">延べサービス提供時間数</th> <th colspan="3">サービス提供時間数</th> </tr> <tr> <th>身体介護</th> <th>生活援助</th> <th>総合事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～3月</td> <td>22,894名</td> <td>20,175時間45分</td> <td>7,681時間30分</td> <td>10,695時間45分</td> <td>1,798時間30分</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>+948名</td> <td>+578時間30分</td> <td>+1,673時間30分</td> <td>-1,401時間45分</td> <td>+306時間45分</td> </tr> </tbody> </table> <p>・年度別推移</p> <table border="1" data-bbox="752 928 2145 1225"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険収入</td> <td>88,243,911円</td> <td>73,746,410円</td> <td>67,676,293円</td> <td>65,074,903円</td> <td>71,292,263円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>30,946名</td> <td>26,843名</td> <td>23,744名</td> <td>21,946名</td> <td>22,894名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>15,433,729円</td> <td>963,485円</td> <td>1,310,296円</td> <td>3,412,451円</td> <td>13,124,854円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値</td> <td>9,268,872円</td> <td>-14,470,244円</td> <td>346,811円</td> <td>2,102,155円</td> <td>9,712,403円</td> </tr> <tr> <td>当期利益前年比</td> <td>250.35%</td> <td>6.24%</td> <td>136.00%</td> <td>260.43%</td> <td>384.62%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本会以外のヘルパー事業所も人員確保が難しく、対応が困難なことから、本会への依頼が増えていますが、人員に限りがあることから対応に苦慮しています。</p>		延べ利用者数	延べサービス提供時間数	サービス提供時間数			身体介護	生活援助	総合事業	4月～3月	22,894名	20,175時間45分	7,681時間30分	10,695時間45分	1,798時間30分	[前年比]	+948名	+578時間30分	+1,673時間30分	-1,401時間45分	+306時間45分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	介護保険収入	88,243,911円	73,746,410円	67,676,293円	65,074,903円	71,292,263円	延べ利用者数	30,946名	26,843名	23,744名	21,946名	22,894名	当期利益	15,433,729円	963,485円	1,310,296円	3,412,451円	13,124,854円	当期利益増減値	9,268,872円	-14,470,244円	346,811円	2,102,155円	9,712,403円	当期利益前年比	250.35%	6.24%	136.00%	260.43%	384.62%
	延べ利用者数	延べサービス提供時間数				サービス提供時間数																																																					
			身体介護	生活援助	総合事業																																																						
4月～3月	22,894名	20,175時間45分	7,681時間30分	10,695時間45分	1,798時間30分																																																						
[前年比]	+948名	+578時間30分	+1,673時間30分	-1,401時間45分	+306時間45分																																																						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																																																						
介護保険収入	88,243,911円	73,746,410円	67,676,293円	65,074,903円	71,292,263円																																																						
延べ利用者数	30,946名	26,843名	23,744名	21,946名	22,894名																																																						
当期利益	15,433,729円	963,485円	1,310,296円	3,412,451円	13,124,854円																																																						
当期利益増減値	9,268,872円	-14,470,244円	346,811円	2,102,155円	9,712,403円																																																						
当期利益前年比	250.35%	6.24%	136.00%	260.43%	384.62%																																																						



目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の要望を聞き、こまめに利用者の支援内容の検討等を行うことで、ニーズに沿ったサービスの提供ができました。また、訪問時に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減、精神的ストレスの軽減に努めました。</li> <li>・必要な情報の定期的な発信や勉強会を開催し、支援に必要な知識の習得を勧めました。また、外部研修に参加した常勤職員による伝達研修を行いました。</li> <li>・居宅介護支援事業所とこまめな情報交換を行うことで、新規利用者、回数増、支援内容の検討を行いました。</li> <li>・日常業務に追われ、人材育成のできる体制の構築ができませんでした。来年度は体制を再度見直し、人材育成のできる体制の構築に努めます。</li> </ul>
評価 A	

## 2. 障がい者ヘルパーセンター事業・・・支出予算 36,875千円

### (1) 障がい者ヘルパーセンター事業

#### ■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質の向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に開催していきます。
- ③障がい者相談支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。
- ④人材育成ができる体制づくりを行います。

#### ■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①毎月1回は、パート職員を含めたヘルパー会議を行います。	100%	①定期的にミーティングを行い、必要時には、利用者様ごとにケース会議を開催し、支援方法等について話し合いました。2月、3月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体で集まらず少人数での開催としました。
②資質向上、専門性を担保するため、1人2回以上外部研修会に参加します。	100%	②基礎研修：6回 専門研修：9回 参加者：95名 介護サービスにおける応急救護について、食中毒予防について、安全運転について、防災について、個人情報保護法について、安全運転について2回 若年性認知症の理解について、キャリアパス対応研修、精神障がい者の支援を考える、知的障害を伴った自閉症スペクトラム障がいの理解と対応について、認知症研修会、虐待対応スキル、サービス提供責任者スキルアップ研修、介護支援専門員更新研修、同行援護一般研修、
③研修会参加者による伝達講習を実施します。	100%	③外部研修に出席した常勤職員が、ミーティングにて伝達講習を行いました。欠席者については個々に資料を配布し説明しました。

<p>④毎月1回は、パート職員を含めた自主研修会を行います。</p>	<p>67%</p>	<p>④各拠点において自主研修会実施 24回 141名（志摩拠点：10回、大王拠点：10回、その他拠点：4回） 2月、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、資料配布にて行いました。 内容：接遇・ヒヤリハット、認知症、感染症・食中毒の予防、救急時の対応、安全運転、虐待防止、個人情報保護 若年性認知症の理解、 ※特に、認知症、精神的不安定な利用者への支援方法については、毎回のミーティングで話し合いました。</p>																																				
<p>⑤利用者数を前年比+5%を目標とします。 （訪問介護と一体の運営）</p>	<p>105%</p>	<p>⑤自立支援給付においては、利用者数は12.8%、訪問時間は6.5%と増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置として、同行援護の縮小や入所先からの帰省等の中止があり、下半期の伸び率の低下につながりました。 受託事業である移動支援事業については、休日の長時間利用者の減と新型コロナウイルス感染症拡大防止策としてのサンライフあごプール閉鎖もあり、利用者、提供時間ともに減少しました。</p>																																				
<p>⑥職員確保に努めます。 （常勤1名、パート職員1名以上）</p>	<p>0%</p>	<p>⑥パート職員1名の増がありましたが、高齢を理由としたパート職員1名の退職があり職員数の増加にはつながりませんでした。</p>																																				
<p>⑦営業実績</p>																																						
<p>・延べ利用者数</p>																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">自立支援給付（居宅、重度訪問、同行援護）</th> <th colspan="2">受託事業（移動支援）</th> </tr> <tr> <th>延べ利用者数</th> <th>延べ提供時間数</th> <th>延べ利用者数</th> <th>延べ提供時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～3月</td> <td>8,487名</td> <td>10,826時間30分</td> <td>322名</td> <td>676時間45分</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>+965名</td> <td>+658時間30分</td> <td>-129名</td> <td>-177時間30分</td> </tr> </tbody> </table>				自立支援給付（居宅、重度訪問、同行援護）		受託事業（移動支援）		延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数	4月～3月	8,487名	10,826時間30分	322名	676時間45分	[前年比]	+965名	+658時間30分	-129名	-177時間30分																	
	自立支援給付（居宅、重度訪問、同行援護）			受託事業（移動支援）																																		
	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数																																		
4月～3月	8,487名	10,826時間30分	322名	676時間45分																																		
[前年比]	+965名	+658時間30分	-129名	-177時間30分																																		
<p>・年度別推移</p>																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立支援費等収入</td> <td>35,119,647円</td> <td>35,972,363円</td> <td>39,013,546円</td> <td>47,553,937円</td> <td>55,465,187円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>6,791名</td> <td>6,936名</td> <td>6,532名</td> <td>7,973名</td> <td>8,809名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>12,946,894円</td> <td>12,242,332円</td> <td>4,931,322円</td> <td>13,986,012円</td> <td>19,011,067円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値</td> <td>415,315円</td> <td>-704,562円</td> <td>-7,311,010円</td> <td>9,054,690円</td> <td>5,025,055円</td> </tr> <tr> <td>当期利益前年比</td> <td>103.31%</td> <td>94.56%</td> <td>40.28%</td> <td>283.62%</td> <td>135.93%</td> </tr> </tbody> </table>				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	自立支援費等収入	35,119,647円	35,972,363円	39,013,546円	47,553,937円	55,465,187円	延べ利用者数	6,791名	6,936名	6,532名	7,973名	8,809名	当期利益	12,946,894円	12,242,332円	4,931,322円	13,986,012円	19,011,067円	当期利益増減値	415,315円	-704,562円	-7,311,010円	9,054,690円	5,025,055円	当期利益前年比	103.31%	94.56%	40.28%	283.62%	135.93%
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																																	
自立支援費等収入	35,119,647円	35,972,363円	39,013,546円	47,553,937円	55,465,187円																																	
延べ利用者数	6,791名	6,936名	6,532名	7,973名	8,809名																																	
当期利益	12,946,894円	12,242,332円	4,931,322円	13,986,012円	19,011,067円																																	
当期利益増減値	415,315円	-704,562円	-7,311,010円	9,054,690円	5,025,055円																																	
当期利益前年比	103.31%	94.56%	40.28%	283.62%	135.93%																																	
<p>※ヘルパー一体型移送サービス：1,051件、外出支援（志摩市よりの受託）：72件にも対応しました。</p>																																						

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の要望を聞き、こまめに利用者の支援内容の検討等を行うことで、ニーズに沿ったサービスの提供ができました。また、訪問時に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減、精神的ストレスの軽減に努めました。</li> <li>・必要な情報の定期的な発信や勉強会を開催し、支援に必要な知識の習得を勧めました。また、外部研修に参加した常勤職員による伝達研修を行いました。</li> <li>・障がい者相談支援事業所とこまめな情報交換を行うことで、新規利用者、回数増、支援内容の検討を行いました。</li> <li>・日常業務に追われ、人材育成のできる体制の構築ができませんでした。来年度は体制を再度見直し、人材育成のできる体制の構築に努めます。</li> </ul>
評価	

3. 訪問入浴介護事業・・・支出予算 19,393千円

(1) 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質の向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に開催していきます。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①資質向上、専門性を担保するため、1人1回以上外部研修に参加します。	100%	① 基礎研修5回 専門研修2回 交通安全について、食中毒の予防について（感染症）、防災について、個人情報保護について、交通安全2回 地域の医療と介護にかかわる研修会、在宅療養における認知症の看護について
②研修参加者による伝達講習を実施します。	100%	②正職員1名が外部研修に、阿児拠点での研修会に常勤職員が参加し、必要な事項はパート職員に伝達しました。
③毎月1回は、パート職員を含めた自主研修会を行います。	100%	③外部研修に出席した常勤職員が、ミーティングにて伝達講習を行いました。欠席者については個々に資料を配布し説明しました。2月、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、資料配布にて行いました。 ケース検討、話し合いを訪問終了後毎回行いました。連絡ノートやシフト表を活用して利用者の情報共有を行いました。

<p>④各居宅介護支援事業所へ空き情報を報告し、スムーズなサービス提供につなげます。</p>	100%	<p>④月1回、居宅介護支援事業所9事業所に情報提供し、利用希望者には迅速な対応を行いました。新規利用者の増はありましたが、終末期の利用者が多く、長期利用にはつながりませんでした。</p>																								
<p>⑤延べ利用者数を前年比+10%を目標とします。</p>	94%	<p>⑤利用者の増加はありましたが、目標値の達成は難しく、3.5%の増にとどまりました。 新規利用者： 23名 利用終了者：17名 ※利用回数増加の希望に沿えるよう調整しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため休止したデイサービスの代替えサービスとして訪問入浴を利用していただきました。</p>																								
<p>⑥市外利用者に対し、効率よいサービス提供ができるよう調整します。 (曜日固定、集約してのサービス提供)</p>	0%	<p>⑥利用者が1名になったこと、入退院を繰り返されたこともあり、調整できませんでした。</p>																								
<p>⑦基本の訪問体制(看護師1名、介護員2名)で提供できるよう、介護職員確保に努めます。(2名程度)</p>	0%	<p>⑦介護職員の確保が難しく、できる限り基本の体制でのサービス提供に努めました。 ※キャンセルが出た際には、利用者同意のもとシフトの再調整を行い、効率よく無駄なく活動できるよう調整しました。 ※訪問入浴の仕事に興味があり活動できる人がないか、職員を通じて声掛けを行いました。成果として表れていないので、継続して行っています。</p>																								
<p>⑧年度内でも収支の状況を見て、事業継続について検討します。</p>	100%	<p>⑧収支の状況悪化がみられたため担当職員等と協議しましたが、代替えサービスが難しいこともあり、事業継続については今後も引き続き検討していきます。</p> <p>⑨営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用者数</li> </ul> <table border="1" data-bbox="750 1066 1153 1217"> <tr> <td></td> <td>阿児事業所</td> </tr> <tr> <td>4月～3月</td> <td>1,281名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>+43名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度別推移</li> </ul> <table border="1" data-bbox="750 1265 2145 1415"> <tr> <td></td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>介護保険収入</td> <td>16,995,270円</td> <td>17,146,310円</td> <td>18,687,159円</td> <td>16,351,091円</td> <td>17,086,840円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,330名</td> <td>1,343名</td> <td>1,419名</td> <td>1,238名</td> <td>1,281名</td> </tr> </table>		阿児事業所	4月～3月	1,281名	[前年比]	+43名		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	介護保険収入	16,995,270円	17,146,310円	18,687,159円	16,351,091円	17,086,840円	延べ利用者数	1,330名	1,343名	1,419名	1,238名	1,281名
	阿児事業所																									
4月～3月	1,281名																									
[前年比]	+43名																									
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																					
介護保険収入	16,995,270円	17,146,310円	18,687,159円	16,351,091円	17,086,840円																					
延べ利用者数	1,330名	1,343名	1,419名	1,238名	1,281名																					

		当期利益	587,124 円	495,142 円	888,858 円	-450,122 円	-295,066 円
		当期利益増減値	-2,355,034 円	-91,982 円	393,716 円	-1,338,980 円	155,056 円
		当期利益前年比	19.96%	84.33%	179.52%	-50.64%	65.55%

## ■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者一人一人の希望を確認し、湯温・時間を調整し、きめ細やかなサービスの提供ができました。支援中に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減や精神的負担の軽減に努めました。</li> <li>入浴独自の研修会が少なく、遠方のため出席できませんでしたが、近隣で行われた研修会に参加した時は、資料の配布や研修参加者による伝達研修、こまめに利用者情報の共有を図ることで、職員の資質の向上に努めました。</li> <li>居宅介護支援事業所へこまめに空き情報を提供し、新規利用者の獲得、利用回数の増加に努めました。</li> </ul>
評価	

## 4. 福祉用具貸与事業・・・・・・・・支出予算 2,079千円

### (1) 福祉用具貸与事業

#### ■目標

- ①利用者のニーズに沿った福祉用具を提供することにより、利用者の心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質の向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に開催していきます。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得に積極的に取り組んでいきます。

#### ■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①専門性を担保するため、1人1回以上外部研修に参加します。	100%	①基礎研修：6回 専門研修：0回 介護サービスにおける応急救護について、食中毒予防について、安全運転について、防災について、個人情報保護法について、安全運転について2回 専門研修会は下半期での開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり参加できませんでした。
②各居宅介護支援事業所へ周知等を行い、利用者増加に努めます。	100%	②居宅介護支援事業所へカタログの配布や訪問を行い、利用者増に努めました。

<p>③前年並みの利用者数を確保します。</p>	<p>101%</p>	<p>③若干の増加がありましたが、重度利用者の終了と軽度の利用者が増えたため、一人当たりの単価が下がり収入は減ってしまいました。</p> <p>④営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ利用者数</li> </ul> <table border="1" data-bbox="752 343 1355 491"> <tr> <th></th> <th>貸与利用者数</th> <th>販売利用者数</th> </tr> <tr> <td>4月～3月</td> <td>163名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>+11名</td> <td>+2名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度別推移</li> </ul> <table border="1" data-bbox="752 539 2141 837"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険等収入</td> <td>2,568,880円</td> <td>1,965,290円</td> <td>2,404,554円</td> <td>2,411,738円</td> <td>2,312,450円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>187名</td> <td>146名</td> <td>142名</td> <td>152名</td> <td>163名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>1,239,222円</td> <td>800,503円</td> <td>896,731円</td> <td>935,927円</td> <td>415,475円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値</td> <td>194,368円</td> <td>-438,719円</td> <td>96,228円</td> <td>39,196円</td> <td>-525,452円</td> </tr> <tr> <td>当期利益前年比</td> <td>118.60%</td> <td>64.60%</td> <td>112.02%</td> <td>104.37%</td> <td>43.86%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補完型福祉機器貸与事業で、浜島：32件、大王：57件、志摩：66件、阿児：92件、磯部21件、合計268件の利用があり、対応しました。</p>		貸与利用者数	販売利用者数	4月～3月	163名	3名	[前年比]	+11名	+2名		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	介護保険等収入	2,568,880円	1,965,290円	2,404,554円	2,411,738円	2,312,450円	延べ利用者数	187名	146名	142名	152名	163名	当期利益	1,239,222円	800,503円	896,731円	935,927円	415,475円	当期利益増減値	194,368円	-438,719円	96,228円	39,196円	-525,452円	当期利益前年比	118.60%	64.60%	112.02%	104.37%	43.86%
	貸与利用者数	販売利用者数																																													
4月～3月	163名	3名																																													
[前年比]	+11名	+2名																																													
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																																										
介護保険等収入	2,568,880円	1,965,290円	2,404,554円	2,411,738円	2,312,450円																																										
延べ利用者数	187名	146名	142名	152名	163名																																										
当期利益	1,239,222円	800,503円	896,731円	935,927円	415,475円																																										
当期利益増減値	194,368円	-438,719円	96,228円	39,196円	-525,452円																																										
当期利益前年比	118.60%	64.60%	112.02%	104.37%	43.86%																																										

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1093 282 1141"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズに沿った福祉機器を貸与、販売することで、本人の自立の支援、介護負担の軽減に努めました。</li> <li>感染症等必要な研修会に積極的に参加しましたが、年度末に行われる専門研修は中止となったため参加できませんでした。</li> <li>居宅介護支援事業所へ周知、情報共有を行い利用者の増加に努めました。</li> </ul>
評価	B		

5. 訪問看護事業・・・支出予算 13,716千円

(1) 訪問看護事業

■目標

①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。

②職員の資質向上（新たな知識の習得、多職種との連携強化）に取り組み、研修会への参加に努めます。

③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況				
①毎月1回管理者会議へ出席します。	100%	①毎月1回の管理者会議に出席し、帰所後情報を共有し、資質の向上に努めました。				
②資質向上、専門性を担保するため、1人1回以上外部研修に参加します。	100%	②基礎研修：5回、専門研修：9回参加 安全運転について、防災について、個人情報保護法について、安全運転について2回、防災センター体験室での防災訓練 不十分な説明に関わるトラブルの未然防止について、地域の医療と介護にかかわる研修会、がん患者の疼痛コントロールについて、看護職員機能委員会Ⅱ地区別看護ネットワーク集会、精神障がい者の支援を考える～精神疾患の理解について、キャリアパス対応研修会、人材育成研修、口腔ケアについて、在宅療養における認知症の看護について				
③研修会参加者による伝達講習を実施します。	100%	③正職員が研修会に参加し、毎月のケースカンファレンス実施の際に伝達しました。				
④居宅介護支援事業所へ空き情報の報告をし、スムーズなサービス提供につなげます。	100%	④月1回、居宅介護支援事業所4カ所へ周知、情報共有を行い、利用希望者には迅速な対応を行いました。今後は、医療保険による新規利用者獲得のために、病院、診療所等へも空き情報を伝え対応します。				
⑤延べ利用者数を前年比+10%を目標とします。	85%	⑤新規利用者の増加はありましたが、施設入所等の利用終了者が多くあり、延べ利用者は減となってしまいました。 新規利用者：15人　利用終了者：17人				
⑥職員確保に努めます。（1名以上）	100%	⑥正職員1名の増加により、より質の高いサービス提供を行うことができました。また、法人全体の目的である、通所介護、生活介護への応援体制を取りました。				
⑦年度内でも収支の状況を見て、事業継続について検討します。	100%	⑦前年度との対比においては減益となることから、事業企画部訪問サービス課として事業継続について協議しました。 ⑧営業実績 ・延べ利用者数 <table border="1" data-bbox="763 1390 1368 1437"> <tr> <td data-bbox="763 1390 965 1437"></td> <td data-bbox="965 1390 1167 1437">介護保険</td> <td data-bbox="1167 1390 1368 1437">医療保険</td> </tr> </table>			介護保険	医療保険
	介護保険	医療保険				

	4月～3月	1,764名	27名			
	[前年比]	-65名	-68名			
・年度別推移						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
介護保険収入	13,764,090円	12,643,660円	12,948,510円	10,322,880円	10,682,010円	
延べ利用者数	2,330名	2,126名	2,157名	1,829名	1,764名	
医療保険収入	3,867,980円	5,887,030円	2,180,080円	823,710円	257,620円	
延べ利用者数	426名	659名	248名	95名	27名	
当期利益	2,705,581円	3,499,161円	-198,946円	1,771,213円	-2,124,547円	
当期利益増減値	-726,686円	793,580円	-3,698,107円	1,970,159円	-3,895,760円	
当期利益前年比	78.83%	129.33%	-5.69%	890.29%	-119.95%	

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者一人一人の希望を確認し、ニーズに沿ったきめ細やかなサービスの提供ができました。支援中に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減や精神的負担の軽減に努めました。また、利用者に変化があった際には、職員間で情報共有を行い、支援内容の再確認、看護内容等の見直しについての提案を行いました。</li> <li>・知識習得の機会を持ち、資質の向上に努めました。研修会参加後、伝達研修にて研修内容を共有し、訪問に役立てました。</li> <li>・居宅介護支援事業所等へこまめに空き情報を提供し、新規利用者の獲得に努めましたが、利用者増にはつながりませんでした。</li> </ul>
----------------	---

○通所介護課（事業方針）

前年度は浜島通所以外、利用者数が大幅に減少となりました。そのため今年度は利用者数の増加を図るべく、これまで以上に居宅介護支援事業所と連携していきます。とりわけ居宅介護支援事業所からの新規申込や利用回数の増加などの相談があった時はすぐさま対応できるようにしていきます。さらに昨年度実施したアンケート結果を参考にご利用者様に満足していただけるよう改善を行っていきます。なお、体験利用（実費徴収）の充実と拡大につきましては引き続き、今年度も実施していきます。今年度で阿児通所介護事業所を一時閉鎖（サンライフあご改修工事のため）することとなりますので、閉鎖中の受け入れ先など利用者の要望に応じていきます。

以上のことを踏まえ、通所介護課においては、次のとおり取り組みを行います。



## 1. 通所介護事業・・・支出予算 283,860千円

(1) 通所介護事業業及び介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス

### ■目標

- ①通所介護事業所がない居宅介護支援事業所を中心に空き情報をこまめに報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。
- ②平成30年度に実施したアンケート結果を参考に各事業所において、利用者に満足していただける対応、体制、サービスの提供を行っていきます。
- ③利用してみたいとの希望があれば、介護保険の認定を受けていない方でも体験利用や見学できるように努めていきます。

### ■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①通所会議を定期的 to 開催します。(年6回)	100%	①通所会議を6回開催(5月、7月、9月、11月、1月、3月)しました。
②資質向上のため、外部研修に参加します。(1人当たり年2回)	105%	②常勤職員(正職員・契約職員)については、積極的に研修会に参加しました。パート職員についても可能な限り研修会に参加しました。介護職員及び看護職員については4事業所合同の研修会を1月に開催しました。(基礎的な研修 15回 101名、専門的な研修 9回 86名、その他 7回 37名)
③勉強会を兼ねたミーティングを開催します。(年3回)	141%	③各事業所におきまして、勉強会(事業計画、アンケート結果報告、虐待、地域包括、安全運転、食中毒、防災、個人情報保護)を兼ねたミーティングを開催しました。(浜島4回、大王4回、阿児6回、磯部3回)
④今年度で阿児通所介護事業所を一時閉鎖することになるので、その間、利用者の受け入れ先など担当ケアマネと連携しながら要望に応じていきます。	—	④サンライフあごの大規模改修工事が白紙(未定)となったため、継続実施の方向ですすすめていきます。11月から利用定員を25名から30名に増やしました。
⑤阿児通所介護事業所の今後に関して市との協議を経ながら、地域のニーズにあわせた新たな試みを検討していきます。	未検討	⑤現状のままで事業展開していきます。
⑥1日の平均利用を浜島30名、大王28	浜 111%	⑥営業実績

名、阿児 21 名、磯部 30 名とします。

大 93%  
阿 95%  
磯 94%

・延べ利用者数（予防・基準該当生活介護含む）

	浜島事業所	大王事業所	阿児事業所	磯部事業所	合計
利用定員	40 名	40 名	25 名→30 名	40 名	
4 月～3 月	10,142 名	7,967 名	6,093 名	8,654 名	32,856 名
[前年比]	1,282 名	-318 名	-1,115 名	87 名	-64 名
サービス提供日数	305 日	305 日	305 日	305 日	
1 日平均利用者数	33.3 名	26.1 名	20.0 名	28.4 名	
上半期 〃	32.5 名	26.2 名	19.2 名	28.8 名	
前年度 〃	29.0 名	27.2 名	23.5 名	28.0 名	
当期利益	1,690,161 円	-5,755,000 円	-4,885,779 円	4,361,157 円	-4,589,461 円
当期利益増減値	1,119,767 円	-2,161,718 円	-9,497,609 円	3,818,138 円	-6,721,422 円

・年度別推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
収入	275,711,112 円	285,619,750 円	287,290,029 円	280,098,404 円	274,740,914 円
延べ利用者数	32,116 名	33,623 名	33,395 名	32,921 名	32,856 名
当期利益	659,377 円	19,042,342 円	13,922,715 円	2,131,961 円	-4,589,461 円
当期利益増減値	-5,516,922 円	18,382,965 円	-5,119,627 円	-11,790,754 円	-6,721,422 円
当期利益前年比	10.68%	2,887.93%	73.11%	15.31%	-215.26%

令和元年度は台風のため 2 日間中止となり、前年度よりサービス提供日数が 1 日少くなりました。それを考慮すると各事業所においては大きな変動があるものの全体的には前年度水準での利用となりました。利用者数は前年度並みであっても要支援（軽度者）の利用者が増加傾向にあるため、収入は減少しています。そのため利益はマイナスとなりました。

- ・浜島：下半期も安定して利用があり、前年度より大幅な利用増となりました。
- ・大王：下半期も平行線で、1 日平均利用者数は目標より 1 名少くなりました。
- ・阿児：11 月から利用定員を増やし利用者確保に努めた結果、若干回復はしたものの大幅な利用減となりました。

・磯部：下半期は上半期より微減となりましたが、前年度よりは微増となりました。

■評価

目標の達成度 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価</td> <td style="width: 50%;">C</td> </tr> </table>	評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各居宅介護支援事業所に空き情報のお知らせのチラシを配布しました。</li> <li>・アンケートでは理美容サービスの希望が多くあり、理美容組合の代表の方に協力をお願いをしました。実施には至っていませんがチラシ等で周知し希望者にはサービス提供できるようにしていきます。</li> <li>・お試しの利用を希望される方については、前年度同様に受け入れました。</li> </ul>
評価	C		

2. 介護予防事業（受託事業）・・・・・・支出予算 4,956千円

(1) 介護予防事業（菜の花館）

■目標

①外出の機会が少ない高齢者等が、要支援・要介護に陥らず、生きがいをもち地域で自立した生活を送ることができるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況									
①菜の花館の運営を行います。 ・生きがい活動通所支援事業の実施 （水曜日・金曜日） ・一般利用（火曜日、木曜日）  ②次年度以降、阿児通所介護事業所が閉鎖時に有効活用できるように検証します。	92%	①事業実績 ・延べ利用者数 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%;">生きがい活動支援通所（水・金）</th> <th style="width: 45%;">一般高齢者通所（火・木）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～3月</td> <td>686名</td> <td>1,296名</td> </tr> <tr> <td>[前年同月比]</td> <td>-140名</td> <td>-152名</td> </tr> </tbody> </table>		生きがい活動支援通所（水・金）	一般高齢者通所（火・木）	4月～3月	686名	1,296名	[前年同月比]	-140名	-152名
		生きがい活動支援通所（水・金）	一般高齢者通所（火・木）								
4月～3月	686名	1,296名									
[前年同月比]	-140名	-152名									
—	—	※3月5日から、新型コロナウイルス感染拡大防止における市の要請により事業を中止しました。 ②サンライフあごの大規模改修工事が白紙（未定）となったため、検証していません。									

■評価

目標の達成度	・生きがい活動支援通所事業及び一般利用とも前年より減少しました。生きがい活動通所支援事業については、新規の利用者が1名でした。今後、施設・事業の将来像について市と協議していきます。
評価	

### ○障がい福祉課（事業方針）

今年度、障がい福祉課においては、4月からの法改正を遵守し、障がいのある児・者が日中活動を有意義に利用できるように、関係機関と連携しながら事業運営していくために、次のとおり取り組みを行います。

#### 1. 障がい者生活介護センター事業・・・支出予算 98,519千円

##### (1) 障がい者生活介護センター事業

###### ■目標

①介護を要する障がいのある方に、通所していただき、入浴、排せつ及び食事等の介護、創作活動や生産活動の機会の提供、その他身体機能及び生活能力の向上のための必要な援助を行います。また、家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。

###### ■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況				
①毎月1回常勤会議を開催し、情報の共有、課題等の検討に取り組みます。	104%	①会議開催の状況				
			職員会議	支援会議等	計（回数）	
		かがやき	14回	12回	26回	
		きらり	12回	12回	24回	
		*各事業所 24回/年 ×2事業所 50/48回				
		・毎月1回常勤会議を開催することにより情報の共有、課題等の検討に取り組むことができました。（かがやき）				
		・今後も、職員会議や支援会議を活かし、より良いサービスの質の向上に努めます。（きらり）				
②質の向上のため一人1回以上外部研修に参加します。	56%	②外部研修派遣の状況				
			基礎研修	専門研修	その他	計（延べ人数）
		かがやき	1名	13名	18名	32名
		きらり	0名	5名	19名	24名
		*各事業所 50回/年 ×2事業所 56/100回				

③かがやき、きらりあわせての生活介護の稼働率を昨年実績の78%以上を目標とします。

100%

- ・研修への参加は、新しい知識の吸収や他事業所の職員から受ける刺激で仕事への意欲に繋がりました。また、伝達研修を行うことで各スタッフへの共有も図れました。今年度はパート職員にも研修に参加してもらうことができ、幅広い職員に研修参加の機会を持ってもらうことができました。（かがやき）
- ・専門的な研修への参加機会を確保できていないため、来年度は調整を行います。（きらり）

③営業実績

- ・延べ利用者数

	きらり事業所	かがやき事業所	合計
利用定員	20名	20名	40名
4月～3月	4,278名	3,090名	7,368名
[前年同月比]	-102名	-101名	-203名
サービス提供日数	242日	242日	484日
1日平均利用者数	17.6名	12.7名	15.2名
当期利益	2,946,928円	-203,537円	2,743,391円
当期利益増減値 (対前年同月)	-2,224,413円	-6,321,066円	-8,545,479円
当期利益前年同月比	56.99%	-3.33%	24.30%

\*稼働率 かがやき 63.8% (昨年実績 65.3% × 0.78 = 50.9%)  
 きらり 88.3% (昨年実績 89.7% × 0.78 = 69.9%)

- ・年度別推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自立支援費等収入	82,005,406円	88,145,423円	99,782,438円	99,495,715円	96,988,632円
延べ利用者数	8,106名	8,236名	8,017名	7,571名	7,368名
当期利益	18,336,240円	15,717,210円	15,859,718円	11,288,870円	2,743,391円
当期利益増減値	2,840,886円	-2,619,030円	142,508円	-4,570,848円	-8,545,479円
当期利益前年比	118.33%	85.72%	100.91%	71.18%	24.30%

<p>目標の達成度</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価</td> <td style="width: 50%;">C</td> </tr> </table>	評価	C	<p>(かがやき)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議・支援会議を毎月開催し、職員間で情報共有を図りながら事業に取り組んできました。また、利用者の楽しみでもある各種行事を定期的に企画することができ喜んでいただきました。</li> <li>・近隣に事業所が新設され併用利用される方・長期入院された方等もありましたが、年間の稼働率目標に達することができました。また、新規利用者や回数増を希望する利用者への対応もできました。ただ、ベッドの空き状況や送迎車の組み合わせ等もあり厳しい状況が続きます。</li> <li>・多方面の研修に参加でき、知識を習得する機会が持てました。また、伝達研修にて研修内容を共有し、現場業務に役立てることができました。</li> <li>・今年度よりかがやき施設の経費が按分されるなど支出の増加、利用者減による介護給付費収入の減少により、当期利益前年度比-3.3%となっております。また、昨年に引き続き利用者満足度を把握するためのアンケートを実施しましたので、今後の支援に活かして行きたいと思っております。</li> </ul> <p>(きらり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議・支援会議を毎月開催し、職員間で情報共有を図りながら事業に取り組んできました。利用者の楽しみでもある各種行事を定期的に企画することができ、利用者やご家族に喜んでいただくことが出来ました。</li> <li>・職員の資質向上のための外部研修にも、可能な限り参加するよう努力しましたが、一人1回以上の目標達成は出来ませんでした。</li> <li>・新規利用者と長期入院からの再開利用者が今年度1名ずつありましたが、近隣の事業所が新設されたことによる併用利用や長期入院された方等もあり、延べ利用者数は前年度より減少したものの、当期利益前年度比56.9%となりました。また、昨年に引き続き利用者満足度を把握するためのアンケートを実施しましたので、今後の支援に活かして行きたいと考えています。</li> </ul>
評価	C		

**2. 日中一時支援事業・・・・・・・・支出予算 5千円**

(1) 日中一時支援事業

■目標

①障がいのある方の日中活動の場を確保し、サービスを提供することにより利用者の自立支援並びに生活の質の向上を目指します。また、相談支援事業所や利用者を取り巻く他のサービス事業所と連携をとり、質の高いサービスの提供に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①月1回常勤会議を開催し、情報の共有、課	100%	①生活介護きらりと同様

<p>題等の検討に取り組みます。</p> <p>②質の向上のため、一人1回以上外部研修に参加します。</p> <p>③日中一時支援事業の利用者の利用については、補完的サービスとして位置づけます。</p>	48%	②同上																	
	100%	③一昨年よりこの事業は、生活介護きらりの補完的なサービスと位置づけ、適切なサービスにつなげる精査をしており、順調に調整が進んでいます。																	
		<p>営業実績</p> <p>・延べ利用者数</p>																	
		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>きりり事業所</th> </tr> <tr> <td>4月～3月</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>[前年同月比]</td> <td>-15名</td> </tr> </table>		きりり事業所	4月～3月	2名	[前年同月比]	-15名											
		きりり事業所																	
4月～3月	2名																		
[前年同月比]	-15名																		
	<p>・年度別推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業等収入</td> <td>464,980円</td> <td>332,173円</td> <td>295,510円</td> <td>63,710円</td> <td>4,481円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>196名</td> <td>139名</td> <td>122名</td> <td>17名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	事業等収入	464,980円	332,173円	295,510円	63,710円	4,481円	延べ利用者数	196名	139名	122名	17名	2名
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度														
事業等収入	464,980円	332,173円	295,510円	63,710円	4,481円														
延べ利用者数	196名	139名	122名	17名	2名														

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<p>・日中一時支援事業を生活介護きりり併設型の補完的サービスとしてきており、利用者は2名となって順調に生活介護利用に移行しています。</p> <p>今後は、この日中一時支援事業を単独型の事業として評価するのではなく、生活介護きりりの中に含めて評価していきたいと考えています。</p>
評価	A		

3. 放課後等デイサービスセンター事業・・・支出予算 31,034千円

(1) 障がい児童デイサービスセンター事業

■目標

①障がい児に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
------	-----	------

<p>①職員会議を開催します。（毎月1回） （その他必要に応じて職員会議、支援会議等を適宜開催）</p>	54%	<p>①会議開催の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計（回数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>くれよん</td> <td>3回</td> <td>10回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>くれよん2</td> <td>3回</td> <td>10回</td> <td>13回</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">*各事業所 24回/年 ×2事業所 26回/48回</p>		職員会議	支援会議等	計（回数）	くれよん	3回	10回	13回	くれよん2	3回	10回	13回																								
	職員会議	支援会議等	計（回数）																																			
くれよん	3回	10回	13回																																			
くれよん2	3回	10回	13回																																			
<p>②支援の質の向上のため一人1回以上の外部研修への積極的な参加を行います。</p>	37%	<p>②外部研修派遣の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>基礎研修</th> <th>専門研修</th> <th>その他</th> <th>計（延べ人数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>くれよん</td> <td>5名</td> <td>0名</td> <td>20名</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>くれよん2</td> <td>0名</td> <td>5名</td> <td>7名</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">*各事業所 50回/年 ×2事業所 37回/100回</p>		基礎研修	専門研修	その他	計（延べ人数）	くれよん	5名	0名	20名	25名	くれよん2	0名	5名	7名	12名																					
	基礎研修	専門研修	その他	計（延べ人数）																																		
くれよん	5名	0名	20名	25名																																		
くれよん2	0名	5名	7名	12名																																		
<p>③常に課題や苦情が発生した場合は、真摯に受け止め速やかに課題解決に取り組み改善策の共有を図ります。</p>	100%	<p>③今年度においては大きな課題や苦情はありませんでしたが、万一の時に課題や苦情が発生した場合は、真摯に受け止め、速やかに課題解決に取り組み改善策の共有を図っていきます。</p>																																				
<p>④くれよん くれよん2 あわせての事業所の稼働率を昨年実績の67%を目標とします。</p>	100%	<p>④営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ利用者数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島・くれよん事業所</th> <th>大王・くれよん2事業所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用定員</td> <td>10名</td> <td>10名</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>4月～3月</td> <td>1,529名</td> <td>1,301名</td> <td>2,830名</td> </tr> <tr> <td>[前年同月比]</td> <td>-364名</td> <td>-56名</td> <td>-420名</td> </tr> <tr> <td>サービス提供日数</td> <td>242日</td> <td>242日</td> <td>484日</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>6.3名</td> <td>5.3名</td> <td>5.8名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-4,502,024円</td> <td>1,884,088円</td> <td>-2,617,936円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 (対前同月)</td> <td>-2,857,988円</td> <td>-1,751,845円</td> <td>-4,609,833円</td> </tr> <tr> <td>当期利益前年同月比</td> <td>273.84%</td> <td>51.82%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">*稼働率 くれよん 63.1% (昨年実績 77.9%×0.67=52.1%)</p>		浜島・くれよん事業所	大王・くれよん2事業所	合計	利用定員	10名	10名	20名	4月～3月	1,529名	1,301名	2,830名	[前年同月比]	-364名	-56名	-420名	サービス提供日数	242日	242日	484日	1日平均利用者数	6.3名	5.3名	5.8名	当期利益	-4,502,024円	1,884,088円	-2,617,936円	当期利益増減値 (対前同月)	-2,857,988円	-1,751,845円	-4,609,833円	当期利益前年同月比	273.84%	51.82%	
	浜島・くれよん事業所	大王・くれよん2事業所	合計																																			
利用定員	10名	10名	20名																																			
4月～3月	1,529名	1,301名	2,830名																																			
[前年同月比]	-364名	-56名	-420名																																			
サービス提供日数	242日	242日	484日																																			
1日平均利用者数	6.3名	5.3名	5.8名																																			
当期利益	-4,502,024円	1,884,088円	-2,617,936円																																			
当期利益増減値 (対前同月)	-2,857,988円	-1,751,845円	-4,609,833円																																			
当期利益前年同月比	273.84%	51.82%																																				



		くれよん2 53.7% (昨年実績 55.8%×0.67=37.3%)				
		・年度別推移				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	自立支援費等収入	30,944,863円	25,829,864円	37,758,046円	30,332,397円	26,741,842円
	延べ利用者数	3,926名	3,072名	3,481名	3,250名	2,830名
	当期利益	4,091,371円	-1,924,486円	10,420,645円	1,991,897円	-2,617,936円
	当期利益増減値	-6,100,112円	-6,015,857円	12,345,131円	-8,428,748円	-4,609,833円
	当期利益前年比	40.15%	-47.04%	541.48%	19.11%	-131.43%

## ■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間のスキルアップのために、外部研修への積極的な参加を促すよう最低限の参加回数頻度を掲げていましたが、意図的に外部研修へ参加できるような体制づくりに至らずに進捗率が低くなりました。</li> <li>・利用者の楽しみでもある事業所内での七夕企画のほか、各種の行事企画（外食行事、スペイン村見学、映画鑑賞、志摩マリンランド見学等事業所外企画）を取り入れた事業所運営を行い、利用者・家族から好評をいただきました。</li> <li>・利用者数は昨年実績と比較すると、くれよん・くれよん2の両事業ともに減少しています。</li> <li>・今年度よりくれよん・くれよん2とも、建屋ごとの経費按分により支出が増え、利用者減による障がい児通所給付費収入が減少して、当期利益前年度対比はくれよん（273.8%）、くれよん2（51.8%）で両事業の合計はマイナス決算となりました。</li> <li>・昨年に引き続き利用者満足度を把握するためのアンケートを実施したことで、今後の支援に活かしていきたいと考えています。</li> <li>・令和2年2月1日から、くれよん・くれよん2の両事業を統合し、主たる事業所を障がい児童デイサービスセンターくれよん（くれよん2：従たる事業所）と位置づけて一本化したことで、今後は利用者数の減少や職員間の効率化等について対応していきます。</li> <li>・3月は、新型コロナウイルス感染症の影響で各学校が臨時休校となったことで、休校日利用として支援しました。</li> </ul>
評価	

## 4. 就労支援事業・・・支出予算 173,343千円

(1) はばたき・あいのその・えりはら・ひまわり

### ■目標

【B型（はばたき、えりはら＜多機能＞、あいのその）】 【A型・移行（ひまわり）】 【生活介護（えりはら＜多機能＞）】

①一般企業等での就労が困難な障がいのある方に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

【A型（ひまわり）・B型（はばたき、あいのその、えりはら）】

②一般企業などへの就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

【移行（ひまわり）】

③介護を要する障がいのある方に、通所していただき、排せつ及び食事等の介護、創作活動や生産活動の機会の提供、その他身体機能及び生活能力の向上のための必要な援助を行います。また、家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。

【生活介護（えりはら）】

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																									
<p>【共通】</p> <p>①職員会議を毎月1回開催します。 ・その他必要に応じて職員会議・支援会議等を適宜開催</p>	90%	<p>【共通】</p> <p>①会議開催の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計（回数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はばたき</td> <td>11回</td> <td>10回</td> <td>21回</td> </tr> <tr> <td>あいのその</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>えりはら</td> <td>11回</td> <td>11回</td> <td>22回</td> </tr> <tr> <td>ひまわり</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>20回</td> </tr> </tbody> </table> <p>*各事業所 24回/年 ×4事業所 87/96回</p>		職員会議	支援会議等	計（回数）	はばたき	11回	10回	21回	あいのその	12回	12回	24回	えりはら	11回	11回	22回	ひまわり	10回	10回	20回					
	職員会議	支援会議等	計（回数）																								
はばたき	11回	10回	21回																								
あいのその	12回	12回	24回																								
えりはら	11回	11回	22回																								
ひまわり	10回	10回	20回																								
<p>②サービスの質及び知識向上に向け外部研修への積極的な参加を行います。</p>	59%	<p>②外部研修派遣の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>基礎研修</th> <th>専門研修</th> <th>その他</th> <th>計（名）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はばたき</td> <td>17名</td> <td>5名</td> <td>26名</td> <td>48名</td> </tr> <tr> <td>あいのその</td> <td>18名</td> <td>7名</td> <td>15名</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>えりはら</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>10名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>ひまわり</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>14名</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table> <p>*各事業所 50回/年 ×4事業所 118/200回</p>		基礎研修	専門研修	その他	計（名）	はばたき	17名	5名	26名	48名	あいのその	18名	7名	15名	40名	えりはら	1名	1名	10名	12名	ひまわり	1名	3名	14名	18名
	基礎研修	専門研修	その他	計（名）																							
はばたき	17名	5名	26名	48名																							
あいのその	18名	7名	15名	40名																							
えりはら	1名	1名	10名	12名																							
ひまわり	1名	3名	14名	18名																							
<p>③令和元年10月からの就労系に関わる軽減税率に対応する取り組みを行います。</p>	100%	<p>③全体・・・増税に伴う軽減税率への対応のため、担当者会議を4回開催しました。各事業所の意向を確認し、軽減税率対応のレジスター2台（店舗用）を購入しました。移動販売時のコンパクトなレジスターについては検討中で</p>																									

④はばたき、あいのその、えりはら、ひまわり、あわせた事業所の稼働率を昨年実績の75%以上を目標とします。

100%

す。  
 はばたき・・・各事業別に単価の変更を行い、各案内文書にて対応しました。  
 えりはら・・・原価表より値段再検討を行い、10月1日より10円UPしました。  
 あいのその・・・4月1日より全体の価格表の改定を行いました。また、ともやまは10月より弁当は8%相当、昼食は10%相当上乗せした金額を案内済みです。  
 ひまわり・・・ほとんどの商品が持ち帰りですが、念珠等の自主製品など10%となる物については、請求書等にその旨を明記して対応しています。

④就労支援事業営業実績

・延べ利用者数

	はばたき	あいのその	えりはら	ひまわり	合計
利用定員	20名	20名	20名	20名	80名
4月～3月	4,833名	4,445名	4,857名	782名	14,917名
[前年同月比]	227名	-605名	22名	112名	-244名
サービス提供日数	269日	249日	252日	240日	1,010日
1日平均利用者数	17.9名	17.8名	19.2名	3.2名	14.7名
当期利益	1,161,641円	5,115,950円	5,894,824円	-7,494,430円	4,677,985円
当期利益増減値 (対前年同月)	1,612,849円	-6,295,501円	2,492,284円	-1,997,246円	-4,187,614円
当期利益前年同月比	257.45%	44.83%	173.25%	136.33%	52.77%

稼働率

はばたき 89.8% (昨年実績 94.7%×0.75=71.0%)    えりはら 96.3% (昨年実績95.1%×0.75=71.3%)  
 あいのその 89.2% (昨年実績103.9%×0.75=77.9%)    ひまわり 16.2% (昨年実績14.0%×0.75=10.5%)

・年度別推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
就労支援事業収入	40,741,042円	47,638,907円	44,190,937円	40,575,909円	39,607,347円
自立支援費等収入	140,076,173円	135,731,821円	133,415,755円	128,639,743円	130,076,145円
延べ利用者数	16,322名	16,091名	14,826名	15,161名	14,917名

当期利益	12,453,491円	20,937,109円	15,825,430円	8,865,599円	4,677,985円
当期利益増減値	5,379,982円	8,483,618円	-5,111,679円	-6,959,831円	-4,187,614円
当期利益前年比	176.06%	168.12%	75.59%	56.02%	52.77%

【あいのその】

① 現行の作業内容の整理を行います。  
(あいのその、ひかり)

75%

【あいのその】

① あいのその

- ・主力商品であるマットに関しては、過剰在庫を抱えている状況から作業を中断し、マット作成以外の作業を中心に組み立てを行いました。
- ・その日の作業内容や主担当者が一目でわかるように、ホワイトボードの活用を工夫しました。  
ひかり
- ・ねじやその他の委託作業の空き時間等を活用して、新たな自主製品の制作を試行錯誤しながら行いました。  
(アロマストーン、シェルアクセサリー、シェルアロマ、アイロンビーズ)

② 新たな作業内容及び販売ルートの開拓  
を行います。(共通)  
(地域の企業等との連携強化及び営業活動)

90%

② あいのその

- ・組みひもを使った商品の開発を行いました。組みひも付きボールペン等について現在イベント等で反応を見ていますが、新たに新規主力製品の一部になる予定です。
- ・2021年度に開催の「三重とこわか国体」に向けて志摩市と三重県共同受注窓口で協議を行い、志摩市の国体に関わる啓発物品の一部(ボールペン、ポケットティッシュ)を「あいのその」で受注でき大きな収入がありました。
- ・志摩市のキャラクター(しまこさん、あおサー)を活用した商品(組みひも付ボールペン、真珠ストラップ付ボールペン)を開発しています。
- ・あわび王国祭り、わらじ祭りの出店のほか、新たに志摩ガス祭りに出店を行いました。
- ・地域の方から依頼をいただき、定期的な除草作業を行っております。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響(観光客の減少、販売店の閉鎖等)により、3月から売上が減少しています。  
ひかり
- ・ひかりでも新たに自主製品を制作することになり、現在、イベント等で商品販売を行っております。
- ・自主製品の新たな販売ルートとして、道の駅(磯部)、海女の店 五左屋(鳥羽市相差)にて販売していただけるようになりました。

③ 繁忙期以外の収益アップに向けた取り

40%

③ 昨年度とは異なり、頻繁に弁当等の注文もあり、新たな取り組みの検討を行っておりません。火曜日、木曜日

<p>組みを検討します。(味工房ともやま)</p>		<p>に、ともやまをどのように活用していくか、引き続き検討が必要です。 例年の春休みに利用のあった食事や弁当提供の予約が、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、全ての予約がキャンセルされました。</p>
<p>【はばたき】</p>		<p>【はばたき】</p>
<p>①工賃向上へ向けた新たな商品開発に取り組みます。</p>	<p>100%</p>	<p>①今年度は、年度当初に新たな業務について他事業所から提案をいただいたり、消費増税や新型コロナウイルス感染症等の環境の変化に伴い新たな商品開発を行うことができたので、今後それが工賃向上へつながるようになっていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市役所農林課より、地域福祉課経由で話のあった観光農園の芝桜の苗植え仕事を試行実施しました。来年度には本格的な予算化がなされるかもしれません。</li> <li>・個人の方より、藍染めに用いる葉っぱちぎりの仕事を新規で受注しました。</li> <li>・農園、菓子工房、味処の商品・メニューの価格やパッケージの見直しを行いました。</li> <li>・エスパスでは、クリスマスに向けて、チーズケーキにデコレーションを行い予約販売いたしました。また、第2弾として令和2年5月の母の日に向けて、予約販売を実施していきます。</li> <li>・味処はばたきでは、ミニ日替わり弁当、ミニチキンカレー等を、4月からの新たな顧客獲得へ向けてメニューを増やしました。(ミニ日替わり弁当はお持ち帰り用として提供予定)</li> <li>・はばたきでは、新型コロナウイルス感染症対策も含め、3月からマスクの販売を行っています。</li> </ul>
<p>②商品の内容表示や栄養成分等の表記の見直しや消費税に対応したシステムの見直しを行います。</p>	<p>100%</p>	<p>②軽減税率制度対応レジスター2台を購入するとともに、レインボーで使用している販売用ソフトの修正を行い、商品の表記について対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農園、味処、エスパス、レインボーについて消費増税の対応について、設備等ではレジスターの購入とソフトの修正、価格帯については、各施設消費税分を乗せた形(税込み)での料金改定を行いました。</li> <li>・栄養成分表記について国から示されている成分表等を元に各商品について成分表を追加しました。</li> <li>・商品の内容表示について、エスパスでは表記に見直しと修正を行ないました。また、レインボーにおいても、出荷者へ向けて必要な表記の助言等を行いました。</li> </ul>
<p>③各作業場での高齢化等を考慮し、各年齢層、個別ニーズにあった作業メニューの提供を行います。</p>	<p>100%</p>	<p>③年齢別への見直しについて施設内で話し合いを行い、利用者個々のニーズや状況に応じた対応を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に、利用者、家族との個別面談を全利用者に対して実施しました。個々の利用者の要望や状況に応じて、プログラムの見直しを行いました。</li> </ul>

<p><b>【えりはら】</b></p> <p>①店舗のリニューアル計画の実施(壁面、オーニングテント、店内レイアウト、お店限定メニューの商品開発)</p> <p>②受託作業の課題を整理し、工賃確保、工賃UPにつながる作業を取り入れます。</p> <p>③火曜日を活用した惣菜事業の展開を広げます。</p> <p>④家族交流会(面談)を開催します。(年1回)</p> <p><b>【ひまわり】</b></p> <p>①牡蠣の販売方法及び販売ルートの開拓を行います。</p> <p>②令和元年5月で満了する利用者の進路先の確保に計画相談支援事業所と共に</p>	<p>30%</p> <p>40%</p> <p>50%</p> <p>100%</p> <p>40%</p> <p>40%</p>	<p>・3月の面談については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、文書での希望確認に変更して対応しました。</p> <p>・個別支援計画書等の様式についても、利用者ニーズや支援の優先順位等に対応できるよう見直しを行いました。</p> <p><b>【えりはら】</b></p> <p>① 店舗のリニューアル(オーニングテント、パンケース、壁面等)については実施できませんでした。店頭販売限定の商品は、磯部小学校と協働し、同小学校4年生が考案したハロウィンパンを10月に販売しました。</p> <p>②これまで課題であった内職作業の職員負担(点検)の多い作業を見直し、高度な作業は量を調整するよう取り組んでいます。作業の空き時間に取り組む組紐作業は、一部苦手な利用者について工賃につながる作業を確保できていないことが課題でした。新しくせっけん・ビーズを活用した自主製品を開発したことで、全員が工賃につながる作業に移行ができました。また、内職作業利用者2名が厨房作業に移行したことで、作業を他利用者に分担でき作業時間の確保につながりました。</p> <p>③配食及び弁当の受注販売の実績は下表のとおりです。惣菜事業については、実施できませんでした。</p> <table border="1" data-bbox="730 826 2148 1023"> <thead> <tr> <th>販売先等</th> <th>実績</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シルバー人材センター(配食)</td> <td>2,066,820円</td> <td>4月392個、5月368個、6月442個、7月568個、8月496個、9月375個 10月397個、11月421個、12月374個、1月297個、2月380個、3月411個</td> </tr> <tr> <td>弁当の受注販売</td> <td>584,800円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>④11月～12月にかけて実施しました。</p> <p><b>【ひまわり】</b></p> <p>①牡蠣の販売については例年、本会のホームページからの注文及び電話、FAXでの注文を受け付けていますが、新規はもちろん前年度のリピーターにも多く利用いただきました。また、ホームページについては見ていただきやすいように再調整を行ないました。</p> <p>②本人の意向を尊重し、相談支援事業所と協議を進めたところ、就労先については時間をかけて本人のペースで探すという結論となり、4月末で退所されました。(利用期間の満了は4月でした。)</p>	販売先等	実績	内訳	シルバー人材センター(配食)	2,066,820円	4月392個、5月368個、6月442個、7月568個、8月496個、9月375個 10月397個、11月421個、12月374個、1月297個、2月380個、3月411個	弁当の受注販売	584,800円	
販売先等	実績	内訳									
シルバー人材センター(配食)	2,066,820円	4月392個、5月368個、6月442個、7月568個、8月496個、9月375個 10月397個、11月421個、12月374個、1月297個、2月380個、3月411個									
弁当の受注販売	584,800円										

<p>すすめます。 ③就労移行支援事業所の今後の方向性を検討します。</p>	<p>40%</p>	<p>③就労移行支援の本年度利用者は6名。志摩市には就労移行支援事業所が「ひまわり」だけのため、検討の結果次年度も事業を継続していくこととしました。</p>
--	------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 427 282 480"> <tr> <td data-bbox="91 427 203 480">評価</td> <td data-bbox="203 427 282 480">C</td> </tr> </table>	評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期は、10月からの軽減税率への対応に不備が無いよう重点的に取り組みを行いました。</li> <li>・A型事業所の「ひまわり」では、昨年度退所された利用者の補充として、求人をハローワークに募集しております。</li> <li>・「あいのその」において、新設事業所への異動などの影響があり、利用者数がやや減少しましたが、他の事業所では、今年度より現役の高等部3年生の就労移行サービス（夏季）利用が認められたことなどで利用者が増加し、全体として現状維持としています。</li> <li>・利用者数は現状維持、訓練等給付費収入は、体制加算によりやや増加しているものの、各事業所で建屋に係る経費が按分されるなど事業支出が増え、利用者の高齢化・商品開発の遅れ等により就労支援事業収入は減少しており、当期利益対前年比は52.7%となっております。</li> <li>・下半期には、各事業所とも昨年に引き続き利用者満足度アンケートを実施しましたので、そのアンケート結果を踏まえて、今後の支援に活かして行くよう努力していきます。</li> <li>・就労支援事業を総合的に評価すると、2月頃からの新型コロナウイルス感染症の影響により、就労売り上げは当初の計画どおりには目標達成もできておらず、利用者も感染の不安を抱きながら就労を継続している状況が続いています。来年度以降も、新型コロナウイルス感染症の影響がさらに長引くと予想されるため、対応策を含めた営業面での取り組みを早急に行いたいと考えています。</li> </ul>
評価	C		